

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 I 等しく認め合う ―男女共同参画の意識づくり―							
1 固定的な意識の是正							
(1) 性別による役割分担意識・慣習の是正	① 固定的な性別役割分担意識に基づく意識・慣習の是正	1 男女平等に関する啓発活動の推進	センター 男女共同参画	実施	・男女共同参画だより「やちよべあ」を発行し、市ホームページを随時更新することで情報提供を行った。〔ペア発行回数〕H28年度3回、29年度1回、30年度4回、R元年度2回 ・主催講座参加者や利用登録団体の代表者に、男女共同参画に関する統計資料などを配布し、これに基づいた講話を行った。	性別による役割分担意識や慣習の是正や、多様な性について周知することができた。また、主催講座参加者や利用登録団体の代表者に対して啓発することができた。	積極的な推進
		1◆1 (1) 視聴覚教材の貸し出し	振興課 生涯学習	実施	視聴覚教材センターにおいて、男女共同参画に関わる教材の貸し出しを行っているが、平成28年度から利用実績はない。	インターネットの普及等により、貸出用の教材が、利用者のニーズに合わなくなっている。	現状維持
		1◆2 (2) 図書資料等の貸し出し	(図書館) 生涯学習	実施	・男女共同参画に関する資料を購入し利用者に提供した。 〔購入冊数〕H28年度6冊、29年度13冊、30年度29冊、R元年度28冊 ・緑が丘図書館で平成30年8月から男女共同参画についての常設展示を実施。定期的にテーマを変え、展示内容を更新している。	男女共同参画に関する資料の購入や常設展示を行い、男女平等意識の向上に向けた利用者へのPRに努めた。	現状維持
(2) 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	① 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	2 人権尊重に関する啓発活動の実施	生涯学習振興課	実施	・県が主催する「社会人権教育地区別研修会」への市民の参加周知・募集を行った。協力：葛南地区5市（八千代市、浦安市、市川市、船橋市、習志野市）〔申込者数〕H28年度35人、29年度4人、30年度16人、R元年度11人 ・県が発行する社会人権教育資料等を公民館や図書館等に配付し、各施設で配架することによって、人権教育の推進を図った。	・人権意識の推進を図るため、各種事業を実施した。	現状維持
			ター 男女共同参画セン	実施	性の多様性について周知するために、啓発用パネルを作成し本庁1階ロビーに展示した。男女共同参画だより「やちよべあ」でも特集を組んで周知した。また、市で取り扱う届出書等について、性別記載欄の有無の調査を行った。今後、調査結果をもとに、記載する必要性について各課と検討していく。 県男女共同参画センターが主催する研修にも参加し、情報収集とスキルアップに努めた。	パネルを展示することで、わかりやすく効果的な啓発ができた。性別記載欄については、調査結果をもとに必要性を検討し、他市の状況も確認しながら整理していく必要がある。	積極的な推進
		2◆1 (1) 人権啓発活動活性化事業	健康福祉課	未実施	船橋地域人権啓発活動ネットワーク協議会の構成員である船橋市と、隔年で実施していることから、令和元年度は船橋市で実施した。 〔実績〕H28年度参加児童26人、29年度船橋市で開催、30年度参加児童48人、R元年度船橋市で開催	令和元年度は船橋市で実施した。	未実施・休止・廃止
		3◆1 相談の場の提供、相談の実施 (1) 人権相談	健康福祉課	実施	船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委員による人権相談を月1回実施。 〔相談件数〕H28年度7件、29年度4件、30年度8件、R元年度6件	定期的な開催により、気軽に相談できる場を提供することができた。件数が少ないことから、広報以外での周知について検討したい。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		3◆2 (2)女性、こころの悩み電話相談	ンター 男女共同参画セ	実施	悩みを抱える女性の話を専門の相談員が傾聴することで、精神的な支援を行った。内容によっては専門機関を紹介した。〔相談件数〕H28年度706件、29年度689件、30年度669件、R元年度657件	リピーターが占める割合が高く、周知しても新規相談者の利用が伸びない。平成9年7月から電話での傾聴という形態が続けているが、当時と環境が大きく変わっていることから、見直しする時期に来ている。	現状維持
(3)性別による役割分担意識の是正のための調査・研究	提供①意識調査等関連情報の収集・整理・	4 男女共同参画に関する調査の実施・情報提供	男女共同参画センター	実施	市内在住の18歳以上の2,500人市民を対象に、男女共同参画に関する市民アンケートを実施した。設問内容については女性の働き方や男性の育児休業、性の多様性など、現在の男女共同参画を取り巻く状況を考慮し、やちよ男女共同参画プラン懇話会及び八千代市男女共同参画推進会議委員からの意見を踏まえて作成した。有効回収数は702通、有効回収率28.1%だった。	八千代市における市民の男女共同参画に関する意識、実態について把握し、男女共同参画施策を推進する上での基礎資料を得ることにつながった。 調査結果については、次期男女共同参画プランの基礎資料として活用していく。	積極的な推進

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	I 等しく認め合う ―男女平等の意識づくり―						
2 男女の人権擁護							
づくり (1)ドメスティックバイオレンスの発生を防ぐ意識	①暴力を許さない意識づくりと相談体制の整備	5 暴力行為を許さない意識づくり	ンター 男女共同参画	実施	・「女性、こころの悩み電話相談」に、DVに関する相談があった場合、福祉総合相談室や県の女性サポートセンター等の専門機関を案内した。〔DVに関する相談件数〕H28年度9件、29年度1件、30年度1件、R元年度5件 ・県が作成するチラシを自治会に回覧し、DV相談カードなどを市内公共施設に配布した。市内中学校・高校・大学には、デートDVのチラシを配布した。	啓発を引き続き行い、DVを許さない意識を広げる必要がある。	積極的な推進
		6 相談の実施	談室 (福祉総合課)	実施	・DV被害者からの相談支援を実施し必要に応じて、警察・配偶者暴力相談支援センター・行政関係部署・各相談支援機関等と連携を図り、相談支援を実施した。〔相談件数〕H28年度30件、29年度29件、30年度49件(男性2件、女性47件)、R元年度70件(すべて女性)	DV被害者に対し、必要に応じた様々な情報提供を行うことができた。 加害者への対応について、被害者相談とは別の支援が必要である。	現状維持
制整備 (2)セクシャルハラスメント防止対策と体	①セクシャルハラスメント防止対策と体制整備	7 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実	光課 商工親	実施	国及び県等から提供されたチラシ等を配架し、情報を市ホームページへ掲載した。	必要な人に情報を提供できるように努めた。	現状維持
			ンター 男女共同参画セ	実施	男女共同参画センター内にポスターを掲示し、国・県で作成したチラシやパンフレットを配布した。	セクシュアルハラスメント防止の意識啓発を図った。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		7◆1 (1)市職員のハラスメントに関する相談	職員課	実施	・管理監督者が果たすべき安全配慮義務及びハラスメント防止対策研修を実施〔参加者数〕23人 ・ハラスメントに関する相談〔件数〕12件 ・窓口担当者連絡会議を開催した。非常勤職員等も含めた2,281人を対象に、ハラスメントに関する調査を実施し、安全衛生委員会の審議を経て、結果とともに対策について職員への周知を行った。また、「職場におけるハラスメント防止に関する手引き」の改定を行った。	管理監督者向けハラスメント予防に関する意識の向上を図る必要がある。ハラスメントに関する調査結果等を踏まえ、相談窓口の周知を徹底し、ハラスメントの相談体制の整備及び質の向上を図る。	現状維持
--	--	----------------------------	-----	----	---	---	------

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	I	等しく認め合う	—男女平等の意識づくり—				
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進							
(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	① 男女共同意識の啓発	8 保育園・幼稚園・小中学校における男女平等の視点に立った保育・教育の推進	子ども保育課(保育園)	実施	保育現場において男女平等の視点に立った保育の推進を図るため、園児の性別による区別をせず、ジェンダー平等となるような保育環境の整備に努め、一人ひとりの選択や適性等を生かした保育を実践した。	男女平等の視点に立った保育の推進を図るため、子どもたちが保育の場を通じて男女平等の観点を身につけられるような取り組みに努めた。	現状維持
			学務課	実施	各学校において、男女共同参画の視点に立った教育活動ができるように、校長会議や教頭会議において学校運営について指導・助言を行った。	男女平等の視点に立った教育の推進が図れた。	現状維持
			指導課	実施	校内活動や職業体験を通して、性別に関わらず協力し行動する意義や大切さを学ばせている。	発達段階に応じて、意識づくりの推進が図れた。	現状維持
		健康福祉課	実施	船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委員が、市内小中学校や学童保育所で人権をテーマとした講演会や、「人権の花運動」としてチューリップの球根の配布・植えつけを実施した。 〔講演会実施回数〕 小学校／H28年度22回、29年度17回、30年度16回、R元年度18回 中学校／H28年度2回、29年度1回、30年度2回、R元年度2回 学童保育所／H28年度5回、29年度1回、30年度6回、R元年度3回 「人権の花運動」H28年度4校、29年度4校、30年度4校、R元年度4校	児童・生徒一人ひとりが互いを尊重し、人権を大切にす気持ちを育むことができた。	現状維持	
		10◆1 男女平等の視点に立った保育・生徒指導のための研修の充実 (1)保育士研修会	子ども保育課(保育園)	実施	性別にとらわれず一人ひとりの個性を伸ばす保育の実践等にあたり、保育士研修会等で各保育士の工夫や改善策等について、情報交換及び情報共有することにより、相互に理解を深め、保育方法の工夫・改善に努めた。	保育士研修会等において、保育方法の工夫や改善策等の情報交換及び情報共有により、保育士相互の理解を深め、性別にとらわれず一人ひとりの個性を伸ばす保育の推進を図ることができた。	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		10◆2 (2)生徒指導主任(主事)・ 長欠担当者研修会	指導課	実施	国・県・市の生徒指導、不登校等児童生徒の問題行動に係る施策の通知を周知徹底し、取り組んでいくために前年度と同様に、市内全小中学校を対象とした生徒指導担当者研修会を開催。長欠担当者研修会(3回)を実施した。	各学校担当者に対して男女の平等の視点に立った施策等の周知徹底を図れた。効果がすぐに表れるものではないため、児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導支援が必要である。	現状維持
		10◆3 (3)各種会議等における 指導・助言・啓発	指導課	実施	不登校児童生徒対策支援教室担当者会議、小中生徒指導推進研究協議会、中高生徒指導推進研究協議会等で指導・助言を行った。	受講者が研修内容を各校で周知し、学校として一貫性のある男女平等の視点に立った指導に努め、組織的な対応ができる生徒指導の体制づくりを強化したい。	現状維持
		11 小中学校担当教員の 学校人権教育研修会の実施	指導課	実施	学校人権研修会を2回実施した。	各小中学校人権教育主任の人権に対する意識が高まった。	現状維持
(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	②男女ともに主体的な選択と能力・適性をいかすことのできる教育の推進	12 教育内容に応じた混合名簿の活用	指導課	実施	卒業生台帳の公簿などは生年月日順とし、男女混合名簿を使っている。	今後も内容に応じて、男女混合名簿を使っていく。	現状維持
		13 学校における総合的な学習の時間、キャリア教育の充実	指導課	実施	主体的な選択と、能力・適性を生かせるよう、小学校では職業調査学習、中学校では職業体験学習を行った。	性別にかかわらず、自分の能力と適性を生かせることを学べた。	積極的な推進
		14 進路指導担当教職員の研修の充実	指導課	実施	性別にかかわらず、進路について子どもたちが考えられるよう、八千代市進路連絡協議会において、進路指導担当教職員に会議の中で周知を徹底した。	性別にかかわらず、個人の希望に沿った進路指導が実施できている。	積極的な推進
		15 中学校における技術家庭科授業の男女共修の充実	指導課	実施	男女ともに技術分野及び家庭分野を学んでいる。八千代市中学校技術家庭科作品展を実施し、優秀な作品を展示した。	技術分野及び家庭分野を、男女性別にかかわらず学び、能力を生かすことに繋がった。	現状維持
		16◆1 技術家庭科担当教員研修の充実 (1) 中学校技術家庭科実技研修会	指導課	実施	県職業能力開発協会の協力を得て、和裁マイスターを講師に招き、男性教諭・女性教諭ともに研修を受けた。	男性教諭が積極的に研修に参加して学び、その成果を生かして授業を行うことで「裁縫は女性」という固定観念を子どもたちが持たないように、男女共同参画の意識づくりを図ることができた。	積極的な推進
		16◆2 (2) 小学校家庭科実技研修	指導課	実施	[参加者数] H28年度3人、29年度3人、30年度1人、R元年度なし 小学校教諭に女性の割合が多いことや、各小学校における家庭科主任の担当がほぼ女性であることから、R元年度は男性の研修参加者はなかった。	研修の参加者が各校において、男性を含めた教員に、研修内容の伝達を行うことで理解を深めている。	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		17 小中学校における性教育の推進	保健体育課	実施	小学校6年生の体育で「病気の予防」、中学校3年生の保健体育で「感染症の予防」として、エイズを含めた性感染症について学習する機会を設けるとともに、学級活動や学校行事等の特別活動の中で性に関する指導を行っている。啓発活動として思春期保健ネットワーク会議と連携して、中学1年生に性に関するリーフレットの配布及び配布後のアンケート調査に協力した。	各学校における保健体育及び特別活動での指導が性に関する正しい知識の習得につながっている。思春期保健ネットワーク会議で作成した、中学生向けリーフレットの配布は正しい知識普及の一助となった。また、配布後のアンケート調査を分析することで現状の把握ができた。	現状維持	
(2)家庭や地域における意識づくりの推進	①家庭や地域における男女共同参画推進のための学習機会の充実と啓発	18 家庭や地域に関する学習機会の充実	画 セ ン タ ー	男女共同参	実施	・男性を対象に、介護や料理、コミュニケーションなど様々な学習をする講座「男の雑学塾（全4回）」を実施。〔延べ参加人数〕45人。 ・医療保険や介護保険、防犯対策など、生活に必要な知識が習得できる講座を開催した。	主催講座によって学習機会を提供し、家庭・地域活動への参加推進を図ることができた。	現状維持
			課 ( 公 民 館 )	生涯学習振興	実施	阿蘇公民館・高津公民館・村上公民館・睦公民館・八千代台東南公民館・緑が丘公民館において連続講座を開催し、地域における男女共同参画を進めるための学習機会の充実を図った。	主に高齢者を対象に、学習へのきっかけづくりや地域でのコミュニケーションの促進を目的に講座を実施した。家庭生活や地域活動に関わっていくための素地を作ることができた。	現状維持
		19◆1 家庭教育の支援 (1)家庭教育後援会	民 館	生涯学習振興課(公)	実施	・未就学児から小中学生の保護者を対象に、家庭教育に関する講座を実施した。〔講座数・延べ人数〕38講座364人 ・1歳児の親子を対象に「1歳児親子学級」を開催した。〔講座数・延べ人数〕10学級2,598人 ・0歳児・2歳児・3歳児の親子を対象に、家庭教育に関わる講座を開講した。〔講座数・延べ人数〕7講座287人	1歳児親子学級は、市内全公民館で毎年開講している。家庭教育学級は、就労する親が増えていることから、参加者の減少が課題となっている。学級という形態にとらわれず、単発での講座の開講なども視野に家庭教育講座の充実を図る。	現状維持
		19◆2 (2)家庭教育学級だよりの発行	振 興 課	生涯学習	実施	「家庭教育だよりの小学生版と中学生版を作成し、市内の小中学校に通学する児童・生徒の保護者に配布した。	家庭教育に関する情報を提供することができた。	現状維持
		20 男女で子育てする意識の啓発	課 ( 保 育 園 )	子ども保育	実施	保育園行事（運動会・保育参観・懇談会・発表会など）において夫婦一緒に子育てする意識が持てるような内容を取り入れ、配布物や掲示物によって参加を促し、夫婦で子育てする意識向上の啓発を行った。	配布物や掲示物による行事等の情報を提供することで、夫婦で子育てする意識の向上を図ることができた。	現状維持
			( す て い ぶ 2 1 )	子ども保育課	実施	父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士が交流する「お父さんと一緒に遊ぼうよ」を実施して、夫婦で子育てする意識向上の啓発を図った。〔回数・延べ参加者数〕H29年度5回46人、30年度2回27人、R元年度2回46人	父親が参加できる事業を実施することで、夫婦で子育てする意識の向上を図ることができた。	現状維持
			援 課	子育て支	実施	子育てに関するサイト「にこにこ☆元気」を運営して啓発を行った。〔閲覧数〕H28年度2,786人、29年度4,241人、30年度4,195人、R元年度4,612人	閲覧者は徐々に増加してきており、子育てに関する意識の啓発を図ることができている。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

			男女共同参画センター	実施	男性が育児に積極的に関わるきっかけをつくるために講座を開催した。 ・パパと作るクリスマスランチ〔参加者数〕H28年度8組16人、29年度7組14人、30年度8組16人、R元年度13組26人 ・パパと一緒にリトミック〔参加者数〕初回H29年度11組25人、30年度14組28人、R元年度6組12人	父親の育児参加を促進するための意識づくりに取り組むことができた。ニーズが高いことから今後も実施したい。	現状維持
	21 男性の子育て推進		子ども保育課	実施	夫婦で子育てする意識の向上を目的に、父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士が交流する「お父さんと一緒に遊ぼうよ」を実施した。 〔回数・延べ人数〕H29年度5回46人、30年度2回27人、R元年度2回46人	父親が参加できる行事等を実施し、夫婦で子育てする意識の向上を図ることができた。	現状維持

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 II 共に作りだす ―あらゆる場への男女共同参画―							
1 施策・方針決定の場への男女共同参画							
(1) 行政における多様な参画の推進	促進等への女性の会	22 審議会等における女性委員比率目標達成	男女共同参画センター	実施	女性委員登用状況調査を実施し、結果を庁内に周知することで登用率向上への協力を求めた。また、県の人材リスト活用について、グループウェアで周知した。	女性登用促進への意識づけに繋がった。	現状維持
	均等市民登用の機会	23 審議会等委員における公募委員登用機会均等	コミュニティ推進課	実施	各課へ周知を行い、選考に際して女性委員の割合を高めるよう促した。公募による市民委員の登用率は、法令等の規定によって市民委員公募になじまない審議会等を除いた値となっている。 〔公募による市民委員の登用率〕 H28年度23.1%、29年度22.7%、30年度22.4%、R元年度23.1% 〔女性委員の登用率〕 H28年度31.7%、29年度32.2%、30年度32.7%、R元年度31.5%	各種審議会等において市民委員の定数は決まっていることから、大幅な増加は見込めないが、新設の各種審議会を立ち上げる際などは、できる限り市民公募の数を増やすよう周知している。女性委員の登用率は伸びており、各審議会担当課に意識が浸透してきた。	現状維持
	の採用と管理職への	24 市女性職員の採用・管理職への登用の促進	職員課	実施	性別に関わらず適切な人事管理・職員の採用を行った 〔職員採用試験受験者の女性割合〕 H28年度45.7%、29年度36.9%、30年度35.8%、R元年度34.2% 〔管理職職員の女性職員割合〕 H28年度22%、29年度18.8%、30年度19.6%、R元年度18.4% 〔女性職員の採用人数〕 H28年度25人、29年度24人、30年度19人、令和元年度15人	保育士等を中心に女性の採用者割合が増加傾向にある。今後は技術職を中心に女性の受験者数の確保、また、女性職員の管理職等への登用及び職域の拡大を図る予定である。	現状維持
(2) 男女共同参画推進のための指導者の人材発掘・育成	① 指導者育成のための学習機会・交流機会の充実	25 自主学習グループの育成とリーダーの発掘	男女共同参画センター	実施	男女共同参画センター利用団体を対象に、男女共同参画の理解を深めることを目的とした研修会を実施した。 〔参加者数〕 H28年度26人、29年度26人、30年度27人、R元年度34人	利用団体同士の連携を図りながら、男女共同参画社会の構築に向けた取り組みや、当センターの役割に対する理解を深めることができた。	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 II 共に作りだす —あらゆる場への男女共同参画—							
2 地域での男女共同参画							
(1) まちづくりへの多様な参画の推進	① まちづくりへの男女共同参画	26 自治会の支援・育成	推進課 コミュニティ	実施	地域まちづくりをしている自治会活動事業への1世帯当たり300円補助金を交付した。また、開発事業における事前協議の際に、入居者に対して自治会への加入、結成を働きかけた。〔市民組織補助金交付〕H28年度245団体、29年度245団体、30年度245団体、R元年度241団体	自治会活動事業への補助を行ったことで、地域活動を支援とまちづくりへの多様な参画の推進を図ることができた。	現状維持
		27 自主防災組織創設・育成事業	危機管理課	実施	・未結成の自治会を訪問して新規立ち上げについての説明を行うとともに、新規自主防災組織と既存組織に対して補助金を交付した。 ・自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会を実施した。 〔新規結成した自主防災組織数〕H28年度3、29年度6組織、30年度6組織、R元年度2組織 〔自主防災組織会長の女性率〕H28年度約10%、29年度約14%、30年度約11%、R元年度約12%	補助金の交付やリーダー研修会を実施したことにより、自主的な防災活動とまちづくりへの多様な参画の推進を図ることができた。	積極的な推進
		28 防災意識の普及・啓発	危機管理課	実施	〔まちづくりふれあい講座の実施件数〕 H28年度1回、29年度なし、30年度2回、R元年度1回 〔防災訓練における防災講話の実施回数〕 28年度29回、29年度26回、30年度22回、R元年度28回	まちづくりふれあい講座や防災訓練における防災講話などを実施し、市民の防災意識への普及・啓発を図ったことで、まちづくりへの多様な参画を推進した。	積極的な推進
		29 リサイクル等のイベントの開催	クリーン推進課	実施	・八千代フリーマーケット実行委員会主催によるフリーマーケットの開催を後援した。〔実施回数と参加者数〕H28年度3回約2,300人、29年度2回約1,300人、30年度2回約2,300人、R元年度2回約2,700人 ・八千代どーんと祭りにリサイクルフェアブースを出展し、アンケートに回答した来場者に対しエコグッズを配布した。〔来場者数〕H28年度約2,000人(2日間)、29年度175人、30年度1,677人(2日間)、R元年度779人	八千代フリーマーケットは女性を主体とした実行委員会により運営されており、地域のまちづくりにおける女性の参画推進につながっている。令和元年度から秀明大学の学生が運営に参加しており、今後のまちづくりへの参画が期待される。	現状維持
	② 地域活動の支援・ボランティア	30 市民活動サポートセンターの運営	コミュニティ推進課	実施	・市民活動団体に対して交流支援、活動支援、情報支援を実施した。 ・ふれあい大学受講生を対象に「地域デビュー講座」を開催。市民活動団体との交流や理解を深めるために各団体のブースを設置し、地域デビューのきっかけづくりの場を提供した。 ・市民活動の周知と、市民活動団体相互の交流促進のため「やちよ市民活動フェスティバル2019」を開催した。 ・市民活動サポートセンターとボランティアセンターとの共催で「ボランティアカフェ」を開催し、地域活動・ボランティア活動への支援や育成につなげるためボランティアセンターとの連携強化を図った。 〔市民活動サポートセンター利用者数〕H28年度5,630人、29年度5,607人、30年度5,975人、R元年度5,293人	新たな事業を実施することで、市民活動団体等の地域活動・ボランティア活動への支援や育成につなげることができた。	積極的な推進

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	31 女性消防団員の事業 参画推進	消防総務課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応急手当指導員の資格を持った女性の消防団員が、市民への救命講習、小中学校生徒に対して救命体験を実施した。〔実施回数〕H28年度25回、29年度34回、30年度36回、元年度33回</li> <li>・ 総合防災訓練、消防フェア等、大規模な防災訓練や地域の訓練等に参加し市民等への救命体験等を実施した。〔実施回数〕H28年度3回、29年度3回、30年度3回、R元年度2回</li> <li>・ 幼年消防クラブを対象に火災予防啓発を実施した。〔実施回数〕H28年度11回、29年度13回、30年度11回、R元年度11回</li> <li>・ 毎年度2回実施する、住宅用火災警報器普及活動に参加した。</li> <li>・ 消防団員を対象に、普通救命講習を実施した。〔実施回数〕H28年度5回、29年度7回、30年度5回、R元年度5回</li> </ul>	住宅用火災警報器の設置促進、火災予防の普及啓発、応急手当指導等を行い、市民に対して普及啓発活動ができた。	現状維持
	32 活動に関する情報提供の充実	生涯学習課	実施	市のホームページで、子ども・若者の体験活動等について「はっぴいういんど」で情報提供を行った。	情報提供元を精査し、ホームページにリンクを貼り、情報の窓口として機能するよう努めた。	現状維持
	33 ボランティア活動の 環境整備	健康福祉課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八千代市社会福祉協議会が、福祉教育の一環として市内小中学校及び高等学校を対象の出前講座や、ボランティアセンターの活動として各種講座を行うなど、地域住民等に対し、地域活動・ボランティア活動への参画を促した。</li> <li>・ 高齢者疑似体験・障害者疑似体験（車いす・アイマスク）、講話等の出前講座（福祉教育）を実施した。〔実施校数〕H28年度14校、29年度11校、30年度19校、R元年度18校</li> <li>・ ボランティア育成講座〔参加者数〕H28年度200人、29年度165人、30年度138人、R元年度179人</li> <li>・ 地域の担い手育成講座〔参加者数〕80名</li> <li>・ 災害ボランティア・被災者支援センター立上げ訓練を1月に社会福祉協議会職員・関係団体・市のみで実施。3月に実施予定だった市民参加訓練は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。</li> </ul>	ボランティア育成講座及び福祉教育等を実施することにより、ボランティアについての意識づくりとボランティア活動の担い手の育成に繋がった。	現状維持
	34◆1 地域の人材活用の充実 (1)生涯学習ボランティアバンク	生涯学習振興課	実施	市や総合生涯学習プラザホームページ及び広報やちよへの特集掲載や、主催講座・市内イベントでのチラシ配布により、生涯学習ボランティアバンク制度の周知に努めた。また、登録講師の更新を行って、活動できる講師を確認した。〔登録者数〕H28年度49人、29年度56人、30年度40人、R元年度39人 〔実施回数・延べ利用者数〕H28年度11回・340人、29年度・21回、521人、30年度37回・591人、R元年度17回・220人	制度の周知に努めたが、利用件数・実施回数・利用者数が減少した。	現状維持



【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		34◆2 (2) 公民館ボランティア講師制度	(公民館) 生涯学習振興課	実施	各種の技能・能力を持っている人が、公民館でボランティア活動を行いやすくするために「公民館ボランティア講師制度」を実施している。主催講座だけではなく、公民館を利用する各サークルや、地域の人たちも依頼できるように情報提供を行っている。29年度の任期満了の際には、任期を3年に改めるとともに登録者に対し継続の意思を確認した。〔登録者数〕H28年度78人、29年度78人（年度末に更新確認）、30年度50人、R元年度49人	制度を通して、地域活動・ボランティア活動への参加意識を高める一助となっていることから、今後も啓発方法や情報提供などの充実に努める。	現状維持
		35 地域集会施設の整備	コミュニティ推進課	実施	男女共同参画を推進するため、地域まちづくりの拠点となる地域集会施設の修繕、管理運営に補助金を交付した。また開発事業による、事業主との事前協議にて、住居計画戸数が100戸以上の場合は集会用地や集会室等を確保するよう指導した。〔修繕事業補助金交付〕H28年度3件、29年度1件、30年度1件、R元年度3件〔管理運営補助金交付〕H28年度77件、29年度79件、30年度78件、R元年度78件〔開発事前協議指導〕H30年度1件、H28年度・29年度・R元年度なし	地域集会施設の修繕、設置管理運営に補助金を交付し、地域での集会活動の活性化が図れるように集会施設の整備を支援することができた。	現状維持
(2) 多様な主体のネットワーク化による連携・協働	① 多様な主体の連携・協働	36 連携と協働による男女共同参画の推進	男女共同参画センター	実施	・県よろず支援拠点・商工観光課と協力して、女性の就労を支援する「女性のための創業セミナー」を実施した。 ①「好きを仕事に」一歩踏み出す勇気で夢をかたちに！〔参加人数〕25人、 ②「起業前に知っておきたい！マーケティングのキソ」〔参加人数〕18人 ・過去に活躍した女性の人生を振り返り、女性の生き方について考える「女性学講座」を支援団体「らいてうの会」との連携と協働で実施した。〔参加人数〕H28年度36人、29年度49人、30年度39人、R元年度55人	関係する団体等と連携・協働して、男女共同参画の推進を図ることが	現状維持
		37 地域子育て支援ネットワークの構築	子育てふか(21)	実施	母子保健課と協働で地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点とした地域子育て支援のネットワークの構築を推進し、子育て支援事業の実施において、地域の協力団体等との連携を図り、妊娠、出産、乳幼児期を通じた切れ目のない支援を行った。	子育てしやすいまちづくりの推進を図ることができた。	現状維持
			母子保健課	実施	子ども保育課と連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠期から出産、乳幼児期までの切れ目のない支援の提供と子育てしやすいまちづくりの推進を図った。さらに、関係機関や団体を含めた、地域情報交換会を実施。地域の特性に合わせ、子育てアドバイザー（保育士）と保健師がコーディネーターとなり地域の子育て支援者及び団体とのネットワーク化を図った。また、地域に対応した活動として、関係機関や団体の会議に随時出席して情報交換を行ったほか、支会との協働で出前「遊びと交流の広場」を開催し、多様な連携・協働につなげた。 ・地域情報交換会を市内7か所で開催〔実施回数と参加者数〕H28年度8回144人、29年度7回136人、30年度7回134人、R元年度7回148人	地域情報交換会を通じて地域の子育て支援関係団体の活動を知り、情報交換や子育て世代に関する共通理解を図ることにより、連携が取りやすくなってきている。顔の見える関係づくりによるネットワークが構築されてきている。	現状維持
		38◆1 地域活動団体の支援・連携 (1) 文化団体の支援・連携	文化スポーツ課	実施	文化団体連絡会を2回開催し、各団体が抱えている課題等の共有や、市民文化祭の反省等の意見交換を行った。県から文化イベントへの参加者募集や文化団体へ補助等の情報提供があった場合には、各団体へ周知した。	文化団体連絡会で各団体が抱えている不安や課題などを共有し、解決に向けての意見交換をすることができた。また、お互いのイベントを見学するなど、団体同士の連携が強化された。	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	38◆2 (2) 青少年育成団体の支援・連携	生涯学習振興課	実施	青少年の健全育成を目的とする団体に対し、活動費の一部を助成した。また、事業を後援したり、団体間の連携を支援したりして、活動環境の整備に努めた。 〔補助金総額〕H28年度から30年度まで、毎年度206万5千円、R元年度204万3千円	活動費の助成や事業を支援することで、青少年の交流・体験の場の提供に繋がった。また、団体の連携を深めることで、課題の解決につながる情報交換などを促すことができた。	現状維持
	38◆3 (3) 青少年学校外活動支援事業実行委員会の支援・育成	興課 生涯学習振	実施	学校の休日等に子どもたちへの様々な体験活動の場や機会を提供している団体に対し、消耗品の提供や備品の貸出及び指導者の講習会・研修会等を実施し、活動内容の充実が図られるよう支援した。〔延べ出席者数〕H28年度57人、29年度42人、30年度51人、R元年度34人	団体に対して必要な支援を行うことができた。また、それぞれの団体が持つ知識や情報を共有する場を設ける等の連携強化に努めることで人材の育成が図れた。	現状維持
	38◆4 (4) PTA 連絡協議会の支援・連携	振興課 生涯学習	実施	令和元年度の研修会は八千代市PTA連絡協議会創立55周年記念事業として親子参加型で開催し、子どもたちが父母や祖父母等との時間を共有できる内容となった。(市教育委員会後援)〔参加者数〕635人	八千代市PTA連絡協議会主催行事の共催や後援、各行事の会場調整等を行い、団体の活動を支援することができた。	現状維持
	38◆5 (5) 地域活動団体の支援・連携	(公民館) 振興課 生涯学習	実施	子ども会や自治会等の地域団体との連携の強化、相互協力体制の充実を図り、地域活動に従事する各種団体の支援・育成に努めた。地域の自治会等の総会や役員会に対して場所の提供を行った。	多様な主体の連携・協働が図れた。今後も継続したい。	現状維持
	38◆6 (6) 講座後の自主グループの支援・連携	(郷土博物館) 文化スポーツ課	実施	八千代土器づくり同好会、竹細工同好会、古文書同好会、篆刻同好会、博物館主催講座の受講生が中心となり組織された同好会の活動を支援している。活動の成果を発表する展示会も連携して開催している。また、主催講座において、会員が講師や講師補助として、受講者の指導に当たり活躍している。 ・竹細工講座〔実施回数〕H28年度～R元年度まで毎年度1回 ・篆刻講座〔実施回数〕H28年度～R元年度まで毎年度2回	同好会の活動を支援することにより、加入者も増加し、多様な主体の連携・協働を図ることができた。	現状維持
	39 関連施設・機関との連携	館 生涯学習振興課(公民)	実施	関連施設との連携を図ることにより、活動の充実に努めた。 ・社会教育施設との連携 (1)高津公民館「バスでめぐる八千代の歴史講座」(郷土博物館)〔延べ参加者数〕18人、(2)村上公民館「村上地区文化財散歩」(郷土博物館)〔延べ参加者数〕10人、(3)八千代台東南公民館「文化財散歩 村上の神楽」(郷土博物館)〔延べ参加者数〕33人、(4)緑が丘公民館「夏休み子ども教室 読書感想文を書いてみよう」(図書館)〔延べ参加者数〕16人 ・男女共同参画センター事業への協力。	多様な主体の連携により、情報交換の場が広がり、充実した市民サービスへの一助となった。	現状維持
	40 広報女性版の発行	聴課 広報広	休止	広報女性版は、昭和49年に誕生し市内外の施設の協力を得て、女性目線で社会や生活について考え紹介するという企画で行ってきたが、その目標は達成されたと考え、平成30年1月15日号を最後に休止した。	令和元年度発行実績なし。	未実施・休止・廃止

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 II 共に作りだす —あらゆる場への男女共同参画—							
3 国際社会への理解と交流の推進							
(1) 平和と国際社会への理解	① 国際社会を理解するための意識づくり	41◆1 国際社会を理解するための意識づくり (1) 国際平和作文コンクール	課 シテイプロモーション	実施	小学生は課題DVDを見て考えたことを、中学生は課題DVDを見て、自分が地域に貢献していること、またはこれから自分が世界に貢献できることを作文にまとめた。コンクール入賞者の中から面接で八千代こども親善大使を選び、友好都市のタイ王国バンコクに派遣した。〔応募総数〕H28年度3,165編（小学校1,617編・中学校1,548編）、29年度3,417編（小学校1,780編・中学校1,637編）、30年度3,320編（小学校1,749編・中学校1,571編）、R元年度3,080編（小学校1,676編・中学校1,482編）	世界に起きていることを知り、自分にできることは何かを真剣に考えることができた。	現状維持
		42◆1 外国語指導助手による国際教育の推進 (1) 外国語指導助手派遣事業	指導課	実施	〔中学校のALT（直接雇用）〕H28年度7人、29年度8人、30年度8人、R元年度6人 〔小学校のALT（民間派遣）〕H28年度7人、29年度8人、30年度10人、R元年度10人 ・英語教材の作成、教員研修や学校行事への参加を行った	児童・生徒の外国の生活や文化・言語に対する興味関心を深め、国際社会を理解するための意識作りを図ることができた。	現状維持
		43 情報の提供	参画センター 男女共同	実施	新規採用職員研修で、情報提供を行った。各種パンフレットやポスターを男女共同参画センターロビーに掲示するなど周知に努めた。	主催講座など市民が集まる機会を活用して、チラシ等の配布ができないか検討したい。	現状維持
		44◆1 外国人に対するコミュニケーション支援 (1) 外国人に対する情報提供、相談業務	課 シテイプロモーション	実施	・多文化交流センターに通訳を配置し、各種相談や情報提供を行った。〔利用者数〕H28年度1,493人、29年度1,346人（男396人女950人）、30年度1,394人（男447人女947人）、R元年度1,631人（男584人女1,047人） ・多文化交流センター及び市役所で学用品を展示し、外国籍の親子を対象に日本の小中学校についての説明会を行った。〔参加者数〕H28年度8組、29年度12組、30年度8組、令和元年度15組 ・毎月多言語による生活情報メール配信を行った。〔登録者数〕H28年度191人、29年度276人、30年度288人、R元年度298人	外国人に対して多言語で情報提供等を行うことによって、コミュニケーション支援の充実を図ることができた。	現状維持
		44◆2 (2) 日本語の学習機会の提供	シオン課 シテイプロモーション	実施	八千代市国際交流協会主催の日本語教室を外国人に案内するとともに、団体に対して会場の提供などの支援を行った。〔教室数・延べ参加者数〕H28年度大人向け9教室2,159人・子ども向け1教室484人、29年度大人向け9教室2,293人・子ども向け1教室464人、30年度大人向け9教室2,297人・子ども向け1教室395人、R元年度大人向け9教室2,356人・子ども向け1教室198人	外国人に日本語学習の機会を提供して語学力の向上を促すことで、コミュニケーション支援の充実を図ることができた。	現状維持
		44◆3 (3) 多言語による防災に関する情報提供	危機管理課	実施	・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語版のパンフレットを支所等で外国人転入者に配布した。 ・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の防災情報メールで災害情報の配信を行った。	パンフレットの配布等により、発災時に外国人が防災情報を確認しやすい環境を整備した。総合防災訓練の際に、防災情報の多言語による提供について周知を行う必要がある。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		45 外国人児童生徒の教育推進事業	指導課	実施	日本語の指導が必要な外国人児童生徒、保護者、教員等に対して、日本語指導や学習面・生活面の適応等の教育相談を実施した。〔相談者数〕H28年度42人、29年度45人、30年度57人、R元年度59人	相談体制の充実を図ることができた。	現状維持
		46 多文化共生の地域づくり	シテイプロモーション課	実施	八千代市国際交流協会が実施するアミーゴこども日本語教室及びオープンセサミ英語教室を支援した。〔延べ利用者数〕H28年度1,451人、29年度1,326人、30年度1,194人、R元年度914人	国際社会への理解を深めるとともに、外国人に対するコミュニケーション支援の充実を図ることができた。	現状維持
(2) 国際交流の推進	① 国際交流関係団体との連携	47 国際交流協会との連携	シテイプロモーション課	実施	イベントの企画・運営や広報等のバックアップ、日本語教室等の会場確保、情報交換や課題の解決に向けた定例会議への参加等を行って連携を図った。補助金を交付して運営を支援した。〔補助金額〕H28年度108万393円、29年度132万9,072円、30年度110万円、R元年度118万6,200円	連携を図ることで、市民主体の交流支援の充実を推進させることができた。	現状維持
		48◆1 国際交流事業の充実 (1) 姉妹都市タイラー市との交流事業の支援	シテイプロモーション課	実施	令和元年10月16日から10月21日にかけて、市長を含むタイラー市親善訪問団が国際姉妹都市である、アメリカ合衆国テキサス州タイラー市を訪問した。、今回初めて教育委員会の職員3名がアメリカ国務省から交付された補助金で、タイラー市親善訪問団に同行した。訪問先では、タイラー市長表敬訪問、テキサス大学タイラー校見学、タイラージュニアカレッジ見学、ローズフェスティバルパレード見学、ホームビジット等を通し、現地の人々と交流を図った。	八千代市親善訪問団のタイラー市訪問が円滑に進むよう調整を図った。	現状維持
		48◆2 (2) こども親善大使の派遣・受け入れ事業	シテイプロモーション課	実施	八千代こども国際平和文化基金事業であるタイ王国バンコク都への八千代こども親善大使の派遣と、バンコクこども親善大使の受入事業を実施した。さらに、こども親善大使のO.G.O.B会「ダイラックアン」の国際交流活動を支援した。〔バンコクこども親善大使受入者数〕H28年度こども親善大使10人同行職員6人、29年度こども親善大使10人同行職員6人、30年度こども親善大使12人同行職員8人、R元年度こども親善大使12人同行職員7人 〔八千代こども親善大使派遣者数〕H28年度小学校5年生6人・中学校2年生4人同行職員5人、29年度中学2年生12人同行職員7人、30年度中学2年生12人同校職員7人、R元年度中学2年生12人同行職員6人	バンコクこども親善大使受入、派遣ともに、国際交流の充実を図ることができた。	現状維持

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	Ⅲ 自分らしく生きる	ワーク・ライフ・バランスの推進					
1 働く場における男女共同参画							
と就労支援	(1) 職場における意識啓発	49◆1 職場における男女平等意識の啓発 (1) 男女平等の意識啓発	商工観光課	実施	国及び県等から提供された情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。	効果的な情報提供が課題。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	の②画の相推進の男女共同参画情報提供機関等	50 市職員への意識啓発	職員課	実施	子育てや家族介護に関する休暇・給付制度等の資料を作成して周知を図った。火曜・木曜日の終業時間に庁内放送を実施し、時間外勤務の抑制やワーク・ライフ・バランスの大切さを呼びかけた。	プラン内目標値を達成したが、引き続き啓発を図る必要がある。時間外勤務は庁内放送を実施することで抑制が図れた。	現状維持
		51 相談機関等の情報提供	商工観光課	実施	国及び県等から提供された情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。	効果的な情報提供が課題。	現状維持
	③農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり	52 家族経営協定の締結促進	農政課	実施	女性や後継者等が果たす役割を適正に評価し、積極的に経営に参画できるよう、県等と連携を図りながら家族経営協定の締結を促進した。〔家族経営協定締結数〕H29年度28件、30年度28件、R元年度31件	県等の関係機関と連携して、新規で3件の協定が締結された。	現状維持
		53◆1 講座の開催 (1)女性農業従事者を対象とした講座等の開催	農政課	実施	やちよ農業交流センターにおいて、女性農業従事者を対象に実施している「やちよ農と食の学び舎」で講習及び視察を行った。〔実施回数・参加者数〕H28年度5回63人、29年度7回68人、30年度12回45人、R元年度20回73人	女性農業従事者の意識啓発と就労支援につながった。	現状維持
		54◆1 女性リーダーの育成 (1)女性指導農業士及び農業士等の育成	農政課	実施	新たな女性農業士・指導農業士の認証に向け、県との協議により対象者等の検討を行った。また、農業後継者の育成活動及び農業者の社会的評価の向上活動を行っている八千代市農業士等協会の視察研修会、情報交換会の場で県と協力し意識啓発を行った。〔八千代市農業士等協会女性役員数〕H28年度2人、29年度から各年度1人〔女性指導農業士数〕H28年度からR元年度まで各年度2人〔女性農業士数〕H28年度からR元年度まで各年度3人	監事に女性が就任することで女性農業者の地位向上へとつながることができた。女性農業士及び女性指導農業士を増やすことが課題である。	現状維持
		54◆2 (2)女性農業者団体への支援	農政課	実施	若手女性農業者組織のJA八千代市フレッシュミズ・アンシャンテ倶楽部の活動に対して県と連携し、同倶楽部からの依頼に応じて総会への出席や講習会等への参加等を行った。〔総会出席回数〕H29年度からR元年度まで各年度1回〔視察研修参加数〕H29年度1回、H30年度なし、R元年度1回(総会と視察研修会を同時開催)〔講習会等参加回数〕H29年度からR元年度まで各年度1回	県と連携してサポートを行い、女性農業者の専門知識の向上、意識啓発につながることができた。	現状維持
55 農業部門における政策や方針決定の場への女性の登用促進	農政課	実施	八千代市農業士等協会会長が女性から男性に交代したことに伴い、農業政策の諮問機関である八千代市農政審議会の女性委員の割合が2割となった。〔実施回数・参加者数〕H28年度3回28人、29年度2回17人、30年度2回20人、R元年度2回19人〔農政審議会委員数〕H28年度男7人女3人、29年度男8人女2人、30年度男8人女2人、R元年度男8人女2人	女性委員の割合が下がってしまったが、引き続き女性のみでの推薦枠を確保し、女性委員割合目標値の35%を目指していく。	現状維持		
援(2)就労による経済的自立の支援	①男女の職域拡大	56 パンフレット等による情報提供	商工観光課	実施	国及び県等からのチラシを窓口に掲示して情報を提供した。	来庁者に対して、情報を提供することができた。より効果的に情報を提供する方法を検討する必要がある。	現状維持
		57 消防本部における女性の職域拡大	消防総務課	実施	消防職員採用説明会や職員採用に合わせて学校訪問を実施し、女性が活躍できる職場であることをアピールし、就業の機会を広げる啓発を行っている。・消防職員採用説明会〔参加者数〕H28年度：男31人・女2人、29年度：男51人・女4人、30年度：男47人・女1人、R元年度：男65人・女4人	全国の消防吏員に占める女性消防吏員比率の数値目標が、令和8年度当初までに5%に引き上げると示されている。令和2年度4月現在、本市の女性消防吏員の割	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防職員採用に伴う学校訪問〔訪問数〕H28年度：大学3・専門1・高校8校、29年度：大学13・専門1・高校13校、30年度：大学11・専門1・高校12校、R元年度：大学11・専門3・高校12校</li> <li>・消防職員採用試験〔受験者数〕H28年度：男12人・女1人、29年度：男14人・女1人、30年度：男17人・女1人、R元年度：男10人・女1人</li> </ul>	<p>合は3.6%であり、数値目標には至っていないことから、今後も女性職員の募集に努める必要がある。</p>	
		58 シルバー人材センターへの支援	長寿支援課	実施	<p>就労意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、運営費の補助等により、シルバー人材センターの運営を支援した。〔会員数〕H28年度男544人女104人、29年度男515人女98人、30年度男518人女113人、R元年度男530人女126人〔年間就業者数〕H28年度男510人女82人、29年度男494人女80人、30年度男468人女90人、R元年度男465人女108人</p>	<p>本人の希望を尊重して男女の区別なく、就労の機会及び社会参加を促進することができた。65歳定年時代を迎え高齢者雇用が推進される中、会員数の拡大に向けた取り組みが課題となっている。</p>	現状維持
	② 職業相談機能の充実	59 職業相談・情報提供の実施	課 商工観光	実施	<p>就業支援として、国の機関である地域職業相談室の維持に努めた。また、就労支援事業のチラシ等を地域職業相談室に配架し、求職者への情報提供に努めた。</p>	<p>職業に関する相談及び情報提供機能の充実に繋がっている。</p>	現状維持
	③ 女性の生涯を通じた能力開発支援	60 技術講習会への参加の啓発	光課 商工観光	実施	<p>関係機関から提供された情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。</p>	<p>効果的に情報を提供する方法を検討する必要がある。</p>	現状維持
		61 女性の就労支援	ター 男女共同参画セン	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のための創業セミナーを、県よろず支援拠点・商工観光課と協力して実施した。「好きを仕事に」～一歩踏み出す勇気をかたちに！～〔参加人数〕25人、「起業前に知っておきたい！マーケティングのキソ」〔参加人数〕18人</li> <li>・就労を考えている女性を支援するために「女性活躍応援セミナー」を開催した。①働き始める時に知りたい「扶養の範囲内」って？〔参加人数〕33人、②女性のための就職サポート講座(全2回)〔延べ参加人数〕28人</li> </ul>	<p>就労を希望する女性のきっかけづくりとなり、女性の経済的自立支援に繋がっている。</p>	現状維持
		62 市職員の人員の配置	職員課	実施	<p>職場において、女性と男性が均等な機会を与えられ、女性の意欲と能力を十分に発揮することを配慮した人員の配置を行った。〔女性副主幹相当職人数(総数116人)〕H28年度59人、29年度42人、30年度38人、R元年度36人〔女性主査相当職人数(総数207人)〕H28年度98人、29年度84人、30年度77人、R元年度65人(令和2年4月1日現在)</p>	<p>部局により、男女比のばらつきが発生している。また、産休・育休者への対応が課題となっている。</p>	現状維持
援(3) 多様な働き方への支援	啓発 ① 育児・介護・介護休暇等制度、再雇用特別措置等の周知	63 子育て・介護と仕事との両立のための制度等の周知	ター 男女共同参画セン	実施	<p>商工会議所の協力を得て、商工やちよに女性活躍推進法改正の記事を掲載し、雇用者への情報提供を行った。また、市民アンケートに男性の育児休暇取得に関する質問を設けて、状況の把握に努めた。</p>	<p>事業主に向けた情報提供や、就労している人々への投げかけができた。</p>	積極的な推進
			光課 商工観光	実施	<p>国及び県等から提供された育児休業制度の情報について、市ホームページへの掲載やチラシ等の配架を行った。</p>	<p>市民への周知ができた。</p>	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

啓発 ②労働時間短縮の啓発 ③企業・事業主に 対する母性保護	64 労働時間短縮に関する情報提供	男女共同参画センター	実施	広報やちよで、ワーク・ライフ・バランスの特集を掲載した。また、各種パンフレット・ポスターを男女共同参画センターロビーに掲示して、市民への啓発を行った。市民アンケートにワーク・ライフ・バランスに関する項目を設けて、意見の収集にも努めた。	市民に対しての意識啓発や、意見の収集が図れた。	現状維持
		光課 商工観	実施	国及び県等から提供された労働時間短縮に関する情報について、市ホームページへの掲載やちらし等の配架を行った。	来庁者等に対して、国及び県等の情報を提供できた。	現状維持
	65 母性保護に関する啓発活動の実施	男女共同参画センター	実施	各種パンフレット・ポスターを男女共同参画センターロビーに掲示して周知した。	母性保護に特化したことはできなかった。	現状維持
		光課 商工観	実施	国及び県等から提供されたパンフレットを窓口に掲示し、市ホームページへ掲載して、母性保護に関する啓発を行った。	来庁者等に対して、母性保護に関する情報を提供できた。	現状維持

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
-------	-------	----------	-----	------	-------------	-------	-------------

主要課題 Ⅲ 自分らしく生きる —ワーク・ライフ・バランスの推進—

2 家庭における男女共同参画

(1) 家事・育児への共同参画	①家事・育児への意識啓発と学習機会の充実	66◆1 子育て体験学習の推進 (1) パパとママの子育て教室	母子保健課	実施	夫婦で子育てをする意識を啓発するために、沐浴実習やパパ同士・ママ同士の座談会をメインとした子育て教室を開催した。 〔開催回数・参加者数〕H28年度12回・男性216人女性220人、29年度12回・男性226人女性234人、30年度12回・男性239人女性248人、R元年度10回・男性217人女性220人(3月は新型コロナウイルス感染症の影響で中止) 〔夫婦で協力して子育てする大切さを感じた人の割合〕H28年度男性99.1%・女性98.2%、29年度男性99.6%・女性98.7%、30年度男性98.3%・女性99.6%、R元年度男性96.7%・女性99.1%	事業後の参加者アンケートでは、男性から「沐浴の実践はとて有意義だった」「抱っこ、お風呂の入れ方は今日をきっかけにこれから勉強します」等の回答が寄せられている。また、「夫婦で協力して子育てする大切さを感じた人の割合」からも男性の家事・育児への参画を促進するための意識づくりができていているといえる。	現状維持
		67 男性のための講座等の実施	生涯学習振興課 公民館	実施	男性が家事に参画するきっかけとして、八千代台公民館で料理教室を開催した「男の料理塾やちよだい」(全6回)〔延べ参加人数〕48人	家事を男女問わず行うことへの意識作りを行うと共に、男性が料理を通し家事を身に付け、家庭への男性参加を促進することができた。	現状維持
(2) 介護への共同参画	①介護への意識啓発と学習機会の充実	68 家族介護者支援の実施	健康づくり課	実施	家族介護者の介護負担の軽減を目的とした事業を開催した。 ・「身体に負担をかけないための介護について学ぶ講座」〔参加者数〕H28年度28人：男4人・女24人、29年度30人：男3人・女27人、30年度34人：男4人・女30人、R元年度23人：男7人・女16人	本市における要介護認定者数は増加傾向にあり、家族介護者も増加していると推察される中で、介護を一人で抱え込まないために必要な事業である。令和2年度は新型コロナウイルス感染症及び長寿支援課の取り組みも鑑み、男女とも	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

					・「介護をする家族のための交流会」〔参加者数〕H28年8人：男4人・女4人、29年度10人：男3人・女7人、30年度7人：男2人・女5人、R元年度6人：男1人・女5人	に介護について学ぶ機会を提供できるようにする。	
	69 高齢者の介護や虐待に関する講座の実施	センター 長寿支援課 地域包括支援	実施	認知症サポーター養成講座や、高齢者福祉に関する講座としてまちづくりふれあい講座や高齢者の身近な相談窓口の紹介等を開催した。 ・認知症サポーター養成講座（まちづくりふれあい講座含む） 〔開催数・延べ参加者数〕H28年度21回591人、29年度25回656人、30年度25回786人、R元年度30回718人 ・高齢者福祉に関する講座（まちづくりふれあい講座） 〔開催数・延べ参加者数〕H28年度7回231人、29年度10回284人、30年度5回206人、R元年度6回99人	男女の別なく、認知症の人への対応や高齢者福祉等に関する学習の機会が提供できた。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2月下旬以降に予定していたまちづくりふれあい講座は中止とした。	現状維持	

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	Ⅲ 自分らしく生きる	ワーク・ライフ・バランスの推進					
	3 多様な生き方を選ぶための条件の整備						
(1) 生涯にわたる学習機会の整備	① 学習機会の整備・拡充	70◆1 生涯学習活動の推進 (1) まちづくりふれあい講座	生涯学習振興課	実施	市民等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明や専門知識を生かした講座を行うことで、市民の学習活動を支援した。また、講座一覧を掲載したパンフレットを作成し、配布及び市ホームページにて周知を行った。〔開催数・参加者数〕H28年度403回13,713人、29年度364回9,486人、30年度363回11,979人、R元年度355回10,123人	市民に学習機会の情報を提供することができた。	現状維持
		71 講座等の開催やグループ活動への支援	男女共同参画センター	実施	支援団体「らいてうの会」との共催で女性学講座を開催した。また、支援団体の活動が円滑に進むよう協力するとともに、それぞれが発行する会報等をロビーに掲示・設置することで、登録団体や利用者に対して活動を周知するなどの支援を行った。	男女共同参画に関する活動を行う団体を支援することで、学習機会を充実させることができた。	現状維持
		71◆1 (1) 市民文化祭の開催・文化団体活動の支援	文化スポーツ課	実施	教育委員会及び各団体との協働で市民文化祭を開催することで、施設使用料及び付属設備使用料を免除し、文化団体の活動を支援した。また、公益財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団との共催で実施したものについては、会場準備や本番当日のサポート等に対して財団職員の協力を得た。市民文化祭ポスター1,000部、リーフレット2,500部を市で作成し、各団体が作成したポスターとも合わせて市内公共施設等に掲示した。また、広報やちよイベント情報メールでの周知も行い、広報の充実に努めた。	高齢化により存続が難しくなっている団体がいくつかある。文化団体活動補助金が廃止になったことで、財政的に厳しい団体も多く、施設使用料等の免除に関しては、活動発表の大きな支援となった。財団職員の協力もあり、各団体が準備段階から発表までスムーズに進めることができた。	現状維持
		71◆2 (2) 講座等の開催・サークルの支援	生涯学習振興課 (公民館)	実施	・主催講座の開催〔講座数・延べ参加者数〕198講座8,086人 ・公民館まつりの実施〔来場者数〕4,862人 ・登録サークルの支援〔サークル・会員数〕335サークル5,117人、延べ利用者数81,689人	学習機会の整備・充実を図ることができた。	現状維持



【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		72 図書館ネットワークの活用	生涯学習 振興課 (図書館)	実施	図書館ネットワークにより、中央図書館を中心として資料・情報の共有化を図り、利用者に向けた情報提供及び情報発信に努めた。また、年度末に電算システムの入替を行った。	学習機会の整備・拡充を図ることができた。今後も利用者のニーズに応じられるよう、ネットワークの活用を行っていく。	現状維持
② 子ども連れで行くことができる施設の整備		73 子ども連れで行くことができる施設の整備・活用	子ども保育課 (すてっぷ21)	実施	地域子育て支援センター及び子ども支援センターすてっぷ21 大和田・勝田台における講座開催時等に、地域ボランティアの協力で一時保育を実施した。 ・「みんなで食育」〔延べ保育数・ボランティア数〕H29年度177人・ボランティア56人(31回実施, 参加326人), 30年度116人・ボランティア58人(22回実施, 参加169人), R元年度40人・ボランティア37(17回実施, 参加者150人) ・子育てワークショップ「おしゃべり広場」〔延べ保育数〕H29年度115人・ボランティア87人(22回実施, 参加者98人), 30年度76人・ボランティア57人(15回実施, 参加者63人), R元年度32人・ボランティア28人(9回実施, 参加者28人)	子育て世代が子ども連れでも講座等に参加しやすい環境整備の推進を図ることができた。	現状維持
			男女共同参画センター	実施	子育て世代が参加する講座で一時保育を準備した。 ・女性活躍応援セミナー(3回実施) ・女性のための起業応援セミナー(2回実施)	子ども連れでも講座に参加できる環境を整備できた。	現状維持
			生涯学習振興課(公民館)	実施	家庭教育講座や親子学級を実施する際に、保育士による一時保育を行ったり、臨時的任用職員等が子どもの世話をしたりして、保護者が安心して参加できるように学習機会の充実に努めた。また、親子で参加できる主催講座を企画した。〔保育数〕H28年度5名, 以後R元年度まで実績はない	子ども連れでも学習できる機会を提供できた。	現状維持
			生涯学習振興課(図書館)	実施	・赤ちゃん向けの絵本選びがしやすいように、はじめての絵本コーナーを充実させた。 ・保護者向けに子育ての本を集めた「子育てコーナー」を充実させた。 ・中央図書館では、子ども連れでもゆっくりと本を選べるショート託児サービスを実施した。〔回数・利用者数〕H28年度150回2,266人, 29年度143回2,554人, 30年度139回2,490人, R元年度123回1,812人	子ども連れでも利用しやすい環境を整備した。	現状維持
		生涯学習振興課(図書館)	実施	・0~1歳向け, 2~3歳向け, 4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会を開催した。〔開催数〕H28年度437回, 29年度592回, 30年度595回, R元年度554回 ・児童向けのイベントとして図書館クイズ, 映画会等を各館で開催した。	子ども連れで行ける施設としての活用が図られた。今後も対象者に合わせたサービスを実施していきたい。	現状維持	
策の推進 (2) 生きがい対策	① 地域活動への参加の推進	74◆1 高齢者の生きがい対策の充実 (1) 単位老人クラブ, 長寿会連合会の運営費補助	長寿支援課	実施	老人クラブの健全な発展を図るため、老人クラブ及び長寿会連合会への補助金を交付した。 〔会員数〕H28年度男1,168人女1,645人, 29年度男1,148人・女1,701人, 30年度男1,152人・女1,689人, R元年度男1,117人・女1,648人 〔補助金〕単位老人クラブ4,317,000円, 長寿会連合会2,978,400円	高齢者の社会参加と生きがい対策の充実を図ることができた。新規会員の獲得が課題である。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		74◆2 (2)連合会主催事業運営協力	支援 長寿支	実施	八千代市長寿会連合会主催の各事業の運営に対し、要望に応じて協力している。今年度は八千代市長寿会連合会主催の各イベントに出席した。	今後もまちづくりふれあい教室等、要望に沿って対応していく。	現状維持
		74◆3 (3)ふれあい大学校運営	長寿支援 課	実施	一般教養コース及び健康福祉コースで年間52回の授業を実施し、127人の卒業生を輩出した。〔卒業生数〕一般教養コース70人（男31人・女39人）、健康福祉コース57人（男22人・女35人）	高齢者が新しい知識と教養を身につけるとともに広く仲間をつくることで、文化的活動等への参加促進と生きがい対策を図ることができた。	現状維持
		74◆4 (4)高齢者学習グループ支援・育成	生涯学習 振興課	実施	市内在住の60歳以上20人以上のグループを、高齢者学習グループとして登録し、学習活動に活用してもらえるようまちづくりふれあい講座のパンフレットを送付して支援した。〔登録数・会員数〕H28年度11グループ495人、29年度10グループ451人、30年度10グループ448人、R元年度11グループ510人	高齢者学習グループの学習活動を支援することができた。	現状維持
		75◆1 ボランティアの指導力の活用 (1)ふれあい教室	生涯学習 振興課	実施	わら工芸、紙工芸、折り紙、囲碁、菊づくり、日本の伝統文化と江戸しぐさ、長寿会交流（昔遊び）の7つのボランティア団体を、市内の小・中学校や学童保育所、幼稚園、保育園等に派遣し、世代間や地域間での交流の場を提供した。 〔実施件数参加者数〕H28年度154件8,111人：指導者数1,271人、29年度158件8,252人：指導者数1,267人、30年度127件参加者数6,057人：指導者数1,112人、R元年度117件6,237人：指導者数1,054人	世代間や地域間での交流の場を提供し、地域活動への参加推進や学習機会の充実に繋がった。	現状維持
		75◆2 (2)伝承文化支援活動	文化スポーツ 課（文化伝承館）	実施	ボランティア団体の協力で、「昔遊び」「物づくり」「紙芝居と昔話の会」を開催した。 ・「昔遊び」竹とんぼ、ペーゴマ、けん玉など、昭和の昔懐かしい遊び体験を通して次世代へ継承していく。幼稚園などへの支援も行った。〔延べ参加者数〕H28年度120人、29年度118人、30年度133人、R元年度126人 ・「物づくり」昔懐かしい遊び道具などの作り方を習得。R元年度は兜、水鉄砲、竹細工、正月飾り、凧、お雛さまを作成した。〔延べ参加者数〕H28年度101人、29年度193人、30年度243人、R元年度224人 *ボランティアスタッフは「ゆいの会」。〔会員数〕H28年度24人、29年度13人、30年度21人、R元年度21人 ・「紙芝居と昔話の会」八千代市の昔話を素材として作成した紙芝居を見たり絵本の昔話を聞いたり、読んだりする。毎月第1・3水曜日に開催。〔延べ参加者数〕H28年度388人、29年度324人、30年度449人、R元年度404人 *ボランティアスタッフは「本だいすきの会」4人	台風や新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事を中止したことで、参加者数が減少したが、伝承文化の学びを通してボランティアスタッフと参加者との良好な交流ができた。課題は、ボランティアスタッフの高齢化と会員の減少である。	現状維持
	提供 ②学習の成果 をいかす 機会の 成果	76◆1 学習成果発表の場の提供 (1)市民文化祭の開催	文化スポーツ 課	実施	市民主体の文化芸術活動の活性化を促す環境づくりを推進するため、参加団体の募集を行い、文化団体21団体、市内学校4校、公民館8館の計33団体による市民文化祭を9月から12月にかけて開催した。また、市民文化祭ポスターデザイン画を募集し、応募作品の中から優秀賞を2作品選び、ポスターに掲載した。また、イベントとしてオーエンス八千代市民ギャラリーで応募作品の展示を行った。 〔参加者数・参観者数〕H28年度11,727人・41,642人、29年度10,394人・40,548人、30年度10,608人・37,996人、R元年度8,938人・34,899人	元年度より2団体が不参加となったことから、参加者・参観者とも大幅に減少した。ポスターデザイン画については、学校関連からの応募が9割を占め、市民からの応募が少なかった。今後、周知方法等を見直し、全体を通して市民の参加を促す必要がある。ポスターデザイン画は、落選となった作品についても展示をする	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

						ことで発表の場の提供となるよう努めた。	
		76◆2 (2) 公民館まつりの開催	生涯学習 振興課 (公民館)	実施	公民館まつりは、それぞれのサークルが普段の学習の成果を発表し、その成果を地域に還元することを目的としている。各公民館、サークル連絡会との共催で開催することができた。〔参加サークル数〕251サークル	学習の成果を活かす機会を提供することが、一人ひとりの生きがいにつながっている。	現状維持
		77◆1 学習成果の活用 (1) スポーツ指導員認定講習会	文化スポーツ課	実施	各種スポーツのスポーツ指導員養成を目的とする講習会を開催した。市民栄誉賞受賞の稲田弘氏による講演、スポーツフォーラム「鉄人と言われてトライアスロンを楽しむ」及びスポーツセミナー「パラスポーツを体験しよう」を行った。少年野球とミニバスケットボールからの新規参加者が多い。〔参加者数〕H28年度328人、29年度207人、30年度193人、R元年度161人	スポーツを指導する上で必要な知識を取得し、資質が向上することにより、スポーツに関わる一人ひとりの生きがいや、地域活動に寄与している。子どもの成長とともに指導者も入れ替わるため、定着率が低いことや、更新希望者の高齢化が進んでいることが課題となっている。	現状維持
		77◆2 (2) 青少年団体指導者養成講座の開催	生涯学習振興課	実施	青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」全5回を実施したが、令和元年度は3回目以降の受講者0となったため中止となった。「子ども・若者育成支援推進法」では、学校・家庭・地域の連携強化が必要であり、それぞれの指導力の向上が望まれているとしている。これを受け、「友・遊・カレッジ」は、子どもたちを見守り育てていく地域の指導者のスキルアップを目指して実施してきた。〔延べ受講者数〕H28年度49人、29年度55人、30年度76人、R元年度34人	受講修了者からは、地域活動を有意義に進められているという報告もあり、事業の継続が望まれる。平成29年度からは、受講者を増やすために開催日を木曜日から土曜日に変更したが、講座の内容や開催時期、受講対象者の範囲などを再度検討し、市民のニーズに合った内容を企画して、PRにも力を入れ受講者を増やしていきたい。	現状維持
		77◆3 (3) 縄文土器づくり講座・竹細工講座・篆刻講座の開催	文化スポーツ課 郷土博物館	実施	・「竹細工講座」竹細工同好会と連携して実施。〔受講者数〕H28年度29人、29年度22人、30年度40人、R元年度25人 ・「篆刻講座」篆刻同好会と連携して実施。〔受講者数〕H28年度31人、29年度38人、30年度30人、R元年度34人 ・「縄文土器づくり講座」〔受講者数〕H28年度56人、29年度17人、30年度47人、R元年度同好会との調整がつかず中止	受講生が中心となり同好会が組織され、主催講座の講師や作品展を開催して活動を続けている。他の主催講座の受講生からも、同好会に入会する人がいて、学習成果を生かす機会を提供することが、地域活動の拡大支援につながっている。	現状維持
整備 生き方への多様な条件	生活支援 ①男性の日常	78 男性のための講座等の実施	生涯学習振興課(公民館)	実施	・「高齢者学級」12講座 〔参観者数〕232人(男性43人) ・「男の料理塾・やちよだい」八千代台公民館 〔参加者数〕9人	今後も日常生活における、男性の多様な生き方への条件整備につなげ、地域においての仲間づくりの一助としたい。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

推 進 ② 男 性 の 参 画 が 少 ない 分 野 へ の 参 画	79 男性の多様な分野への参画の支援	男 女 共 同 参 画 セ ン タ ー	実施	男性を対象に、介護や料理、コミュニケーションなど様々な学習をする講座や、子育てに関わる講座を実施した。男の雑学塾（全4回）〔延べ参加者数〕45人、パパと一緒にリトミック〔参加者数〕13組26人、パパと作るクリスマスランチ〔参加者数〕6組12人 また、過去の講座等がきっかけとなって、結成され活動が続いている男性の料理グループの支援を続けることで、家事への参画を推進した。	男性の参画が少ない家事の基本的な技術の習得を図り、地域での仲間作りの支援と地域活動への参画意識の啓発を行うことができた。	現状維持
--	--------------------	--	----	--	--	------

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 IV 健やかに暮らす —いきいきと暮らすための健康と福祉の推進—							
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進							
(1) 健康づくりの充実	① 市民が主体的に健康づくりに取り組むシステムづくり	80 地域組織活動の支援	健康づくり課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やちよ元気体操の普及と住民主体の健康づくりを推進する人材を育成するため「やちよ元気体操応援隊養成講座」を実施。応援隊が実施する体操グループに対し活動支援を行った。〔応援隊登録者数・体操グループ数〕H28年度382人・65グループ、29年度423人・75グループ、30年度513人・90グループ、R元年度506人・96グループ</li> <li>・ 食をきっかけとした住民主体の健康づくりを推進するため「男の料理塾」を実施し、卒業生による自主グループが発足するように働きかけた。〔自主グループ数〕H29年度1グループ、30年度2グループ、R元年度3グループ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体操グループを増やすことができた。参加者の筋力や体力の向上だけでなく、住民同士の交流や生きがいにも繋がっており、今後もグループが少ない地域への働きかけを行う。</li> <li>・ 男の料理塾の開催により自主グループを増やすことができた。現在は全て保健センターで活動しているため、今後は公民館を拠点とした活動が増えるよう公民館へ働きかける。</li> </ul>	積極的な推進
		81◆1 スポーツ・レクリエーション事業の実施 (1) 市民体力テスト	文化スポーツ課	実施	自分自身の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得るために体力テストを行った。 〔体力テスト会参加者数〕H28年度53人、29年度56人、30年度36人、R元年度28人	テストを実践することで自分の体力に関心を持ち、日常生活に生かすきっかけをつくることができた。今後ともイベント周知を図り、市民に参加を呼びかける。	現状維持
		81◆2 (2) 市民レクリエーション大会	文化スポーツ課	実施	令和元年度は9月から11月までに4つの大会を開催した。 〔グラウンドゴルフ大会参加者数〕H28年度155人、29年度156人、30年度136人、R元年度160人〔インディアカ大会参加者数〕H28年度270人、29年度245人、30年度230人、R元年度182人〔レクダンス大会参加者数〕H28年度53人、29年度51人、30年度44人、R元年度77人〔パークゴルフ大会参加者数〕H28年度36人、29年度32人、30年度44人、R元年度40人〔ターゲットバードゴルフ大会参加者数〕H28年度19人、29年度22人、30年度22人、R元年度未実施〔やちよ歩こう会参加者数〕H28年度25人、29年度28人、30年度27人、R元年度未実施	市民の心身の健康支援となるレクリエーション活動の活性化を図り、楽しみや生きがいを見つける機会が提供できている。 大会を訪れた人たちに対して、定期的に続ける生涯スポーツ活動の普及のため、勧誘などを行っているが、参加者が毎年固定化している傾向にあるため、新規の参加者を増やすことが今後の課題である。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	81◆3 (3) ニューリバーロード レース in 八千代	課 文化・ スポーツ	実施	競技力の向上、体育・スポーツ意識の高揚と健康の増進や体力向上と、スポーツイベントによる地域振興・活性化や参加者の親睦と融和を目的に開催している。一人ひとりの体力に合わせ気軽に参加できるよう、レース種目（距離）と部門（年齢・性別）を多く設定している。〔参加者数〕H28年度5,082人、29年度5,461人、30年度4,484人、R元年度4,496人	参加者が自分のペースで走り、ゴールした達成感を得ることで、体力維持・増進への関心を高めることができた。	現状維持
	81◆4 (4) ウォークラリー大会	ポ ーツ 課 文化・ ス	未 実 施	令和元年度は、主催団体である八千代市レクリエーション協会において、大会運営の人員が不足したことから実施できなかった。〔参加者数〕H28年度192名、29年度162名、30年度102名、R元年度未実施	市民が気軽に参加できるイベントであったが、開催することができなかった。	未実施・休止・廃止
	82 女性の健康の保持増 進対策の推進	健 康 づ く り 課	実 施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診を健康づくり課や母子保健課で実施する講座で周知した。</li> <li>・小学5・6年性、中学生の保護者宛てにがん検診の受診勧奨に関するちらしを配布した。また、乳がん検診の対象年齢に該当する41歳の人に無料で受けられるクーポン券を、子宮がん検診前年度未受診の30代奇数年齢の人に受診勧奨のはがきを送付した。</li> <li>・電話相談・来所相談において、必要に応じて医療機関及び相談窓口として更年期外来等の情報提供を行ったほか、がん集団検診時にちらしを設置し、相談機関の周知を行った。</li> </ul> 〔小中学生保護者向けちらし配布件数〕H28年度9,067件、29年度8,909件、30年度8,758件、R元年度8,615件 〔乳がん検診クーポン券送付件数〕H28年度1,563件、29年度1,434件、30年度1,421件、R元年度1,366件 〔子宮がん検診受診勧奨はがき送付数〕H28年度未実施、29年度4,380件、30年度4,499件、R元年度4,424件 〔女性の健康に関する相談件数（電話・来所）〕H28年度4件、29年度1件、30年度16件、R元年度8件	女性のがん検診の受診勧奨を通じて、自分の健康に関心を持つことができるよう支援することができた。相談件数が少ないが、適宜情報提供を行っており、女性の健康の保持増進対策を推進した。今後も電話や来所相談等のPRを行い、周知を図っていく。女性の健康づくりの推進については、がん検診の受診率等のデータや市民からの要望等を考慮し、ニーズに応じて内容を検討していく。	現状維持
② 健康診査・健康相談等の実施	83◆1 健康診査の実施 (1) 特定健康診査・特定保健指導	健 康 づ く り 課	実 施	40歳以上の八千代市国民健康保険加入者及び生活保護受給者、並びに後期高齢者医療制度加入者に受診券を個別送付した。その後健診結果から特定保健指導及び保健指導対象者に利用券を送付した。受診率向上対策として、受診券個別送付、千葉県国民健康保険団体連合会への支援依頼（電話による受診勧奨）、はがきによる受診勧奨、かかりつけ医がなくても受診できるよう集団健診の実施、医療機関からの受診勧奨ちらしの配布等を実施した。 〔特定健康診査及び健康診査受診券送付数／受診者数〕H28年度男25,387人・女29,758人／男6,786人・女8,482人、29年度男24,770人・女29,197人／6,599人・女8,448人、30年度男24,589人・女29,244人／男6,904人・女8,835人、R元年度男24,515人・女29,406人／男6,682人・女8,482人 〔特定保健指導及び保健指導利用券送付数／利用者数〕H28年度902人／136人（15.1%）、29年度854人／136人（15.9%）、30年度887人／147人（16.6%）、R元年度874人・166人（19.0%）	受診者数が減少した要因として、自己負担免除の申請手続きを開始した年度であったため周知不足が考えられ、年度内に広報等で周知に努めた。特定保健指導及び保健指導については、電話や手紙による受診勧奨、保健センターでの集団健診会場で初回面接分割実施し、利用率を上げることができた。	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

<p>83◆2 (2)各種がん検診</p>	<p>健康づくり課</p>	<p>実施</p>	<p>受診券及び案内を年齢や性別に応じた対象者に個別送付し各種がん検診を実施した。厚生労働省の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」として、対象者にクーポン券及びがん検診手帳の送付、受診の再勧奨を実施し、検診に関する知識の普及と受診勧奨を行った。がん検診の精密検査結果未把握者については、八千代医療センター及び一次医療機関に確認することで精密検査の受診勧奨と結果把握に努めた。また、広報、ホームページ、やちよ健康情報メール、やちよ子育て応援モバイルを活用した受診勧奨と、がんの好発年齢に合致する小中学校の保護者に対して、早期発見・早期治療の大切さについてのチラシを配布した。 〔胃がん検診受診者数〕H28年度男6,084人・女8,530人、29年度男5,286人・女7,656人、30年度男5,299人・女7,627人、元年度男4,639人・女6,801人 〔大腸がん検診受診者数〕H28年度男7,503人・女11,337人、29年度男7,261人・女11,067人、30年度男7,536人・女11,203人、元年度男7,254人・女11,017人 〔乳がん検診受診者数〕H28年度7,430人、29年度6,574人、30年度7,129人、R元年度元年度6,868人 〔子宮頸がん検診受診者数〕H28年度7,592人、29年度6,869人、30年度7,565人、R元年度7,047人 〔肺がん検診受診者数〕H28年度男7,953人・女12,019人、29年度男7,730人・女11,883人、30年度男8,001人・女12,127人、R元年度男7,754人・女11,774人</p>	<p>受診者数が減少した要因として、自己負担免除の申請手続きを開始した年度であったため周知不足が考えられ、年度内に広報等で周知に努めた。</p>	<p>現状維持</p>
<p>83◆3 (3)成人歯科健康診査</p>	<p>健康づくり課</p>	<p>実施</p>	<p>40歳以上の市民を対象に委託歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施した。 〔成人歯科健康診査受診者数〕H28年度2,520人、29年度2,415人、30年度2,327人、R元年度2,308人 対象者への受診券送付に合わせて広報やホームページで受診を勧奨した。また成人歯科健康診査受診勧奨チラシを歯科講演会やイベント等で配布した。</p>	<p>前年度と同程度に歯の健康の保持増進を通じて健康づくりを推進できた。受診率が横ばいであることから、引き続き歯の健康と全身の健康との関わりを広く周知し、受診率向上に努める。</p>	<p>積極的な推進</p>
<p>84◆1 健康相談の実施 (1)電話・来所による健康相談</p>	<p>健康づくり課</p>	<p>実施</p>	<p>電話や来所による相談を実施し、必要に応じ受診勧奨や専門相談機関の紹介等を行った。相談内容は、電話・来所とも生活習慣病に関する事、メンタルヘルスに関する事が上位を占めている。市広報やホームページ、健康講座や健康診査等に参加した市民にチラシ配布で継続的に周知した。 〔電話相談件数〕H28年度238件、29年度221件、30年度172件、R元年度170件 〔来所相談件数〕H28年度52件、29年度47件、30年度48件、R元年度41件</p>	<p>市民の健康についての不安を解消できるよう相談に対応し、市民の健康づくりについて支援することができた。引き続き、やちよ健康情報メール等も活用し、周知に努める。 専門機関に関する情報は常に変化することから、相談者に適切な情報が提供できるよう情報収集にも努める。</p>	<p>積極的な推進</p>
<p>84◆2 (2)精神保健福祉相談</p>	<p>障害者支援課</p>	<p>実施</p>	<p>メンタルヘルスほっと相談は、日常業務の中で対応が可能なことから廃止した。相談業務の一環として、関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携を図り支援を継続している。 〔電話相談件数〕H28年度2,444件、29年度2,227件、30年度1,812件、R元年度2,168件 〔来所相談件数〕H28年度2,871件、29年度3,181件、30年度3,184件、R元年度2,587件 〔訪問件数〕H28年度732件、29年度716件、30年度660件、R元年度727件</p>	<p>障害を抱えながらも地域で安心して生活が送れるよう支援することができた。</p>	<p>現状維持</p>
<p>84◆3 (3)市職員のメンタルヘルス相談</p>	<p>職員課</p>	<p>実施</p>	<p>・カウンセラーによる月1回のカウンセリング事業—こころの窓口—を実施。 〔利用者数／延べ利用者数〕H28年度15人／45人、29年度18人／34人、30年度20人／36人、R元年度17人／36人</p>	<p>対象者に毎月事業の周知を行っていることから、適切な利用がされていると考える。今後も必要な人には、個別に推奨するなどの支援・周知を図っていきたい。</p>	<p>現状維持</p>

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

③ 心身の健康づくり対策の充実	85 健康に関する知識の普及・啓発	参画女性共同	実施	健康づくり講座(元年度は「料理をしたくない日の食事健康術」)を、健康づくり課との共催で開催した。〔参加者数〕H28年度12人、29年度14人、30年度21人、R元年度25人	健康づくりへの意識啓発ができた。	現状維持	
	85◆1 健康に関する知識の普及・啓発 (1)健康教育	健康づくり課	実施	講座を通じて、高齢者の健康づくりに必要な運動や口腔ケアの方法、食生活等に関する知識の普及啓発を図った。 〔介護予防を目的とした講座実施回数・延べ参加者数〕H28年度120回・4,156人(男1,365人・女2,791人)、29年度116回・3,380人(男1,069人・女2,311人)、30年度113回・4,097人(男1,238人・女2,859人)、R元年度84回・1,909人(男677人・女1,232人)	介護予防を目的とした取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施回数が減少した。令和2年度は感染症の状況を見ながら取り組む。	現状維持	
	85◆2 (2)こころの健康づくりフェア	障害者支援課	中止	精神保健分野の理解啓発事業としてこころの健康づくりフェアを実施してきたが、平成27年度以降は障害者理解啓発事業講演会に変更し実施している。令和元年度は、障害の特性に応じたコミュニケーション手段・手話に関するテーマの講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。〔参加者数〕H28年度34人、29年度79人、30年度40人、R元年度中止	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、事前申し込みは障害や手話に関連する人からが多かったことから、テーマに馴染みのない人にも興味を持ってもらえるよう、日程や周知方法の再考が必要と考える。	現状維持	
	85◆3 (3)市職員のメンタルヘルス研修	職員課	実施	〔研修名・参加者数〕「新規採用職員研修Ⅰ」心と体の健康管理・35人、「管理監督者が果たすべき安全配慮義務及びハラスメント防止対策研修」23人、「主事研修」心のセルフケア・37人、「主査研修」監督者が担う部下のメンタルセルフケア対策・11人、「主査補研修」メンタルヘルスの基礎知識・16人、「公募型研修」こころを整える実践研修・14人	メンタルヘルスについての識見を深め、予防対策等について共通理解を図ることができた。	現状維持	
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実	母子保健課	86◆1 健康教育・健康診査・健康相談の実施 (1)母子健康手帳交付	実施	・妊娠届出書を提出した妊婦に、母子健康手帳を交付した。交付の際は、すべての妊婦に専門職が面接を行い、必要な保健指導や母子保健事業、子育て支援事業についての情報を提供。また、養育支援が必要な家庭を早期に把握し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターや医療機関等と連携して妊娠期からの継続支援につなげた。 ・市役所・市内医療機関・近隣市医療機関等に「早めに母子健康手帳の交付を受けましょう」という周知ポスターを掲示し、妊婦向けのチラシを配布した。母子健康手帳交付時には、居住地域の支援センターの紹介やマタニティ広場等の説明を行った。マタニティ広場は令和元年度から会場を3箇所に絞ったことで、他地域の妊婦同士も交流ができるようになった。また、先輩ママとのディスカッション形式を取り入れている。 〔妊娠届出数〕H28年度1,465件、29年度1,457件、30年度1,461件、R元年度1,438件、〔妊娠12週未満の届出数〕H28年度1,323件、29年度1,342件、30年度1,352件、R元年度1,336件	・母子健康手帳交付についての周知ポスターにより、妊娠12週未満の届出数90%以上を維持し、養育支援が必要な家庭を早期に把握することができた。また、母子健康手帳交付時の面接を保健師等の専門職が実施することで、妊娠初期から妊婦と関わりを持ち、医療機関や関係機関と連携しながら、継続した支援につなげることができた。 ・母子健康手帳交付時に、妊婦のニーズにあった情報(産後ケア事業やファミリー・サポート・センターの紹介など)を提供し、妊娠期教室やマタニティ広場を紹介することで、妊婦の不安や悩みの軽減・解消に努めることができた。	現状維持
			86◆2 (2)プレママ教室	課 母子保健	実施	初妊婦を対象に、専門職(助産師・栄養士・歯科衛生士)による講話や実習を行ったほか、子ども支援センター・地域子育て支援センターを紹介した。 〔実施回数〕H28年度10回、29年度10回、30年度10回、元年度9回(3月は新型コロナウイルスの影響で中止)〔参加者数/初妊婦数〕H28年度152人/659	参加者アンケートの結果から、概ね目標は達成できたと考える。プレママ教室は1回の平均参加人数が定員を下回っている。母子健康手帳交付時に教室案内を行

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

				人、29年度189人/680人、30年度165人/685人、R元年度133人/664人 〔参加率〕H28年度23.1%、29年度27.8%、30年度24.1%、R元年度20.0%〔不安が軽減できた人の割合〕H28年度95.4%、29年度96.8%、30年度96.3%、R元年度95.5%〔友だちづくりのきっかけができた割合〕H28年度85.5%、29年度86.1%、30年度90.1%、R元年度81.2%	っているが、周知内容を見直すなど、参加率の向上について検討する。	
86◆3 (3)健康診査(妊婦・乳児・幼児)	母子保健課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「妊婦健康診査」経済的に負担なく、安心して受診できるように14回分の公費負担を行っている。〔受診件数〕H28年度18,169件、29年度17,851件、30年度18,096件、R元年度17,789件</li> <li>・「乳児健康診査」経済的負担の緩和と乳児の疾患を早期発見、適切な治療につなげるため、2回分の公費負担を行っている。〔受診件数〕H28年度2,898件、29年度2,908件、30年度2,710件、R元年度2,766件</li> <li>・幼児期における虐待の未然防止、疾患や発達の遅れを早期発見、適切な医療や療育機関につなげるため、1歳6か月と3歳児健康診査を行っている。 〔1歳6か月児健康診査受診件数〕H28年度1,498件、29年度1,533件、30年度1,575件、R元年度1,426件〔3歳児健康診査受診件数〕H28年度1,564件、29年度1,536件、30年度1,474件、R元年度1,532件</li> <li>・健康診査に合わせ子育てアンケート(厚生労働省の母子保健計画「健やか親子21(第2次)」に基づく)を実施し、その結果と健診の問診内容等から必要な人に対し、対応方法を検討し支援している。〔フォロー数〕H28年度608件、H29年度575件、H30年度651件 ※R元年度分は未完了</li> </ul>	R元年度の受診率は、妊婦健康診査は88.4%、乳幼児健康診査全体では94.6%である。健康診査を受診することで、疾患や発達の遅れを早期発見し、適切な治療や療育機関につなげ、医療機関と母子保健課が連携を図ることで、特に支援が必要な乳幼児や養育者に対し、速やかに支援を行うことができています。また、健康診査未受診者へも電話や訪問等により、妊娠期から乳幼児期まで切れ目なく支援を行っている。今後も受診率の向上が課題である。	現状維持	
86◆4 (4)訪問事業(新生児・乳児家庭全戸等)	母子保健課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新生児訪問」提出された出生連絡票を基に、家庭訪問が必要と判断した家庭及び妊娠期から継続支援をしている家庭に、保健師・助産師が家庭訪問を行った。母親等に対して、産後早期の育児相談、養育支援を行うと共に、産後うつ等の発見及び産婦の不安や疑問、トラブルなどが早期に解消できるように支援した。〔実施件数〕H28年度228件、29年度252件、30年度285件、R元年度304件〔出生連絡票の提出率〕H28年度84%、29年度90%、30年度91%、R元年度94%</li> <li>・「乳児家庭全戸訪問」生後4か月までの乳児がいる家庭を、地域に住む子育て経験者である母子保健推進員(継続支援者は保健師・助産師)が訪問した。保護者の不安や悩みを傾聴、子育てに関する情報提供を行うと共に、親子の心身の状況や養育環境の把握・助言を行い、支援が必要な家庭を適切なサービスにつなげた。訪問で会えない場合は、その理由を把握し、予防接種の接種状況、乳児健康診査の受診状況等や、必要な場合は子ども相談センター等の関係機関と情報共有するなど養育状況の確認を行った。また、母子保健推進員の資質向上のため、勉強会や研修会を実施した。 〔対象者数・訪問できた人数〕H28年度1,606人・1,526人(95%)、29年度1,528人・1,455人(95%)、30年度1,482人・1,416人(96%)、R元年度1,468人・1,410人(96%)</li> </ul>	出生連絡票の提出率は年々上がっている。イライラする、気分の落ち込むことがある等の記載があるときは、早期に家庭訪問を行うことで、産後の支援につながっている。また、生後4か月までの乳児がいる96%の家庭に母子保健推進員等が訪問できたことで、母子保健の充実を図ることができた。	現状維持	
86◆5 (5)赤ちゃん広場(4か月・10か月児)	課 母子保健	実施	生後4か月と10か月に「赤ちゃん広場」を実施し、身体測定、発達確認を行うとともに、個別相談、親同士の交流の場を提供した。3月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	事業後に実施した参加者アンケートから、不安が和らいだという回答が多く、個別相談や親同士の交流等を行うことによって安心した子育てにつながっている	現状維持	



【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

				<p>[実施回数・参加者数・参加率(4か月/10か月)] H28年度 125回・1,251人・78%/125回・1,256人・76%, 29年度 133回・1,238人・82%/131回・1,217人・76%, 30年度 133回・1,172人・80%/124回・1,182人・77%, R元年度 114回・1,066人・83%/107回・1,039人・76%</p> <p>[個別相談者数(4か月/10か月)] H28年度 736人/769人, 29年度 780人/781人, 30年度 711人/749人, R元年度 657人/641人</p> <p>[不安が和らいだ割合(4か月/10か月)] H28年度 69%/82%, 29年度 76%/81%, 30年度 70%/75%, R元年度 65%/81%</p>	<p>と考える。また、もともと不安がなかった割合は、4か月では参加者の24%、10か月では16%を占めている。事業に参加したことで不安が和らいだ割合を合わせると約9割の参加者が子育てに対しての不安を軽減または解消することができていると考えられる。</p>	
	86◆6 (6) 相談事業(食生活・歯科・電話)	母子保健課	実施	<p>食生活、歯科、その他育児などに関する相談を受け、子育てに関する不安や悩みに対応した。市民への電話相談の周知は、子育てハンドブック等の配布物・ホームページや広報・小中学生向けに配布する思春期の悩みに関するリーフレットに掲載して周知を行った。</p> <p>[食生活相談(面接)] H28年度 85件, 29年度 42件, 30年度 29件, R元年度 63件 [各事業での食生活相談(面接)] H28年度 1,143件, 29年度 1,129件, 30年度 1,145件, R元年度 1,039件 [食生活電話相談] H28年度 486件, 29年度 484件, 30年度 330件, R元年度 472件 [食生活家庭訪問] H28年度 15件, 29年度 8件, 30年度 36件, R元年度 38件 [歯科相談(面接)] H28年度 28件, 29年度 23件, 30年度 32件, R元年度 13件 [歯科電話相談] H28年度 78件, 29年度 55件, 30年度 75件, R元年度 50件 [歯科家庭訪問] H28年度 5件, 29年度 1件, 30年度 11件, R元年度 4件 [電話相談(育児相談等)] H28年度 9,141件, 29年度 10,784件, 30年度 11,492件, R元年度 11,850件</p>	<p>食生活・歯科・育児等に関する電話相談の件数は増加しており、相談者からの妊娠・出産・子育てに関する悩み等に専門職が対応することで、問題解決や不安の軽減を図ることができた。また、継続した支援にも繋がっており、個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。引き続き事業の周知をホームページや広報で行っていく。</p>	現状維持
	86◆7 (7) ブックスタートの推進	(図書館) 生涯学習課	実施	<p>絵本を通して親子の心ふれあうひとときを持つきっかけを作るため、「4か月児赤ちゃん広場」等でブックスタートパックを配布した。[配布件数] H28年度 1,779件, 29年度 1,642件, 30年度 1,526件, R元年度 1,451件</p>	<p>親子のコミュニケーションを深めるきっかけになり、乳幼児期の子育て支援につながった。</p>	現状維持
	87 食育の取組	母子保健課	実施	<p>「やちよ食育ネットワーク協議会」市内小学校で農業生産者と共に食育授業を行う食育推進事業「めざせ!食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。令和元年度は、小学校22校中20校で農業生産者と関わりのある食育を実施することができた。広報誌「やちよ食育マガジン」を発行。企画・運営・評価を「やちよ食育ネットワーク協議会」で実施した。</p> <p>「母子保健・子育て事業等での食育」 妊娠期からの継続した食育事業を子ども支援センター・地域子育て支援センター(子ども保育課)と連携して実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[プレマ教室参加者数] H28年度 152人, 29年度 189人, 30年度 165人, R元年度 133人(3月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</li> <li>・[4か月・10か月児赤ちゃん広場参加者数] H28年度 2,507人, 29年度 2,455人, 30年度 2,354名, R元年度 2,105人(3月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</li> <li>・[もうすぐ1歳半おやこ広場参加者数] H28年度 722人, 29年度 726人, 30年度 707人, R元年度 119人(全数対象から申し込み制に変更), みんなで食育事業 H28年度 33回 436人, 29年度 28回 329人, 30年度 22回 169人, R元年度 17回 144人</li> <li>・公民館・サークル・学童保育等からの依頼食育講座[参加者数] H28年度 4回</li> </ul>	<p>「やちよ食育ネットワーク協議会」について、令和元年度は、学校への周知を指導課、農業生産者の紹介を農政課、全体の取りまとめを母子保健課が行い、学校が直接農業生産者と連絡を取り、主体的な取り組みができた。</p> <p>母子保健・子育て支援事業等での食育については、各所で食育の取り組みが実施された。</p> <p>以上の状況から妊娠期からの継続した食育の推進により、母子保健の充実が図れた。</p>	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

				46組, 29年度2回14組, 30年度13回374人, R元年度16回528人		
			農政課	実施 母子保健課が事務局となっている八千代食育ネットワーク協議会・分科会における会議に参加し、情報共有を業った。 「やちよ食育ネットワーク協議会」H28年度3回, 29年度3回, 30年度2回, R元年度2回, 「やちよ食育ネットワーク分科会」H28年度から各年度2回 「授業視察」H29年度1回, 30年度4回, R元年度1回	目標の推進に向けて協力することができた。	現状維持
			保健体育課	実施 ・市内産の食材を年間通じて学校給食に使用。市内産エコ人参を使用して「学校給食エコにんじんウィーク」等、特色のある取り組みを実施した。 ・児童生徒の野菜への関心を深めるために、給食だよりに野菜のコーナーを設けて「野菜バクバク 元気モリモリ」を掲載した。	農業生産者とのふれあい事業を実施することで、農業への関心と食べ物への感謝の気持ちを高められた。・栄養教諭・学校栄養職員が授業を行うことで、給食を生きた教材として活用し食に関する知識を得ることができた。	現状維持
②性に関する心とからだの保健事業の推進	88 思春期の生と性に関する取組		母子保健課	実施 ・八千代市思春期保健ネットワーク会議を開催し、医療・教育分野、保護者など様々な立場から思春期保健について議論した。〔開催数〕H28年度5回, 29年度5回, 30年度4回, R元年度4回 ・性に関する相談機関や正しい知識が得られるサイトを紹介するリーフレットを中学1年生に配布した。〔配布数〕H28年度7,654枚, 29年度3,426枚, 30年度3,248枚, R元年度3,526枚 ・保護者への情報提供として、思春期保健ネットワークニュースレター第17報を市内の小中学校保護者等に配布した。〔配布数〕H30年度10,500枚, R元年度10,342枚 ・八千代市オリジナル生と性の教育教材のデータを更新した。	思春期保健ネットワーク会議において、インターネットやSNS等による人とのコミュニケーション方法の変化、多忙な親と子の関係等、現代の思春期保健の現状と課題を話し合った。思春期保健を性教育、小児科・産科の診療現場、学校での子どもの様子等、多角的な視点から理解することができた。また、乳幼児期からの自分と異なる性別の子の理解と対応など、新たな示唆が得られた。具体的な活動方法の検討が課題となっている。	現状維持
			課 保健体育	実施 思春期保健ネットワーク会議と連携し、全ての子どもたちが自分自身の生と性を大切にすることをめざし、性に関する心とからだの保健事業の推進を図った。	思春期保健ネットワーク会議と連携し、保護者及び関係者に八千代市の現状・事業・正しい知識等を伝えることができた。	現状維持
	89◆1 性教育の推進 (1)小中学校における性教育の推進		保健体育課	実施 各小中学校における性教育の推進が図れるよう、思春期保健ネットワーク会議と連携し、オリジナル教材の見直しや教育プログラムの検討を行う作業部会に協力している。授業の実施状況やオリジナル教材内の指導案について使用後のアンケート調査と結果の分析を行った。	オリジナル教材の紹介を積極的に行うことにより、小中学校における性教育の推進につながった。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	89◆2 (2)公民館における性教育の推進	民館) 生涯学習 振興課(公	実施	思春期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育講座の中で性に目覚める子どもとの関わり方や問題などについて学んだ。[受講者数] H28年度 245人、29年度 242人、30年度 80人(陸公民館「コスモス学級」未実施)、R元年度 242人	家庭教育講座への参加者が少ないことから、周知方法等の検討が必要である。	現状維持
--	--------------------------	-------------------	----	--	-------------------------------------	------

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題 IV 健やかに暮らす ―いきいきと暮らすための健康と福祉の推進―							
2 自立した生き方を支える福祉の充実							
(1) 多様な子育て環境の整備	① 保育ニーズに合わせた保育事業の充実	90◆1 保育園事業の充実 (1) 障害児保育の推進	育 課 子 ども 保 育	実施	保育を必要とする障害児の受入れを行った。また、児童発達支援センターと連携を図り障害児保育の実技指導研修会を実施し保育環境の向上を図った。 [受入数] 公立保育園 7園 24人、私立保育園 8園 16人	保育を必要とする障害児の受入れにより子育て支援の充実を図った。	現状維持
		90◆2 (2) 保育園の地域開放の促進	課(保 育 園) 子 ども 保 育	実施	保育園の地域開放を月1～2回実施することにより、遊びの場の提供、育児相談、親子の触れ合い遊び等を行い、子育て支援の充実を図った。	保育園の地域開放の実施により、交流を楽しみにする親子や園見学を目的とした保護者に対し、子育て支援の充実を図ることができた。	現状維持
		90◆3 (3) 延長保育の推進	課 子 ども 保 育	実施	女性就労の増加や就労形態の変化等に対応するため、保育園等において午後7時(一部8時)までの時間外保育を実施した。[実施園数()内は8時まで] H29年度 公立 8園(2園)・私立保育園等 26園、30年度 公立 8園(2園)・私立保育園等 28園、R元年度 公立 8園(2園)・私立保育園等 34園	保育園における時間外保育の実施により子育て支援の充実を図ることができた。拡充等に当たっては保育士の確保等が課題であると考ええる。	現状維持
		90◆4 (4) 産休明け保育の推進	課 子 ども 保 育	実施	女性が出産後も就労を継続できるよう産休明け保育を実施した。	産休明け保育の実施により子育て支援の充実を図ることができた。定員数があるため待機児童の解消が課題であると考ええる。	現状維持
		90◆5 (5) 乳児保育定員の拡充	保 育 課 子 ども	実施	保育園等において乳児保育定員数の拡充に努めた。 [保育園等の定員数] H29年度 0歳児 194人・1歳児 454人、30年度 0歳児 203人・1歳児 466人、R元年度 0歳児 241人・1歳児 517人	乳児保育定数の拡充に努めたが、働きながら子育てする女性の増加等により、待機児童解消には至っていない。	現状維持
		90◆6 (6) 私立保育園等に対する助成	子 ども 保 育 課	実施	八千代市新保育ガイドラインに沿った保育内容の充実と、施設運営の円滑を図るため私立保育園及び認定こども園に対し助成を行った。また、保育士の処遇改善を目的とした手当の支給により保育士の確保及び離職防止を図り保育体制の確保に努めた。	私立保育園及び認定こども園に対する助成及び保育士に対する手当の支給により、保育環境整備の充実等を行うことができた。利用ニーズが増加している状況で、引き続き保育士の確保等に努め体制や保育環境整備の充実を図ることが課題である。	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	90◆7 (7)一時預かりの推進	課 子 ど も 保 育	実施	保護者の短時間や断続的な就労、就学、冠婚葬祭等で一時的に育児が困難な場合の預かり、または保護者の育児に伴う負担解消等の保育ニーズに対し、一時預かりを行う民間保育園等に補助金を交付することにより、保育の環境整備を行い、子育て支援の充実を図った。	一時預かりを行う民間保育園等に補助金を交付することにより、保育の環境整備を行い、子育て支援を図ることができた。	現状維持
	90◆8 (8)休日保育の実施	育 課 子 ど も 保	実施	休日における保護者の就労等により保育を必要とする児童を保育するため、ゆりのき台保育園で休日保育を実施した。〔延べ利用者数〕H29年度317人、30年度319人、R元年度308人	子育て支援の充実を図るため休日保育を実施しているが、実施にあたり職員体制の確保等が課題となっている。	現状維持
	91 病児保育事業	課 子 ど も 保 育	実施	病気の回復期または回復期に至っていない児童に対し、集団保育等が困難な時期における一時的な保育サービスを実施した。〔延べ児童数〕H29年度1,715人、30年度1,461人、R元年度1,369人	子育て支援の充実を図ることができたが、現在、施設が市内1か所（勝田台地域）のため施設の拡充等が課題となっている。	現状維持
	92 ファミリー・サポート・センター事業の充実	子 ど も 保 育 課 (すてつぷ21)	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後及び育児支援として保育ニーズに対応した相互援助活動を実施した。〔会員数〕H29年度798人（依頼会員660人、両方会員45人、協力会員93人）、30年度915人（依頼会員777人、両方会員42人、協力会員96人）、R元年度959人（依頼会員825人、両方会員46人、協力会員88人）</li> <li>子ども支援センター及び地域子育て支援センターの利用者を対象に「おしえて！ふあみさぼ」を開催した。〔回数・参加者数〕H29年度7回・67人、30年度14回・148人、R元年度7回・84人</li> <li>産後及び育児支援に係る基礎研修会、交流会等を開催した。〔回数・参加者数〕H29年度14回・238人、30年度13回・217人、R元年度12回・159人</li> </ul>	ファミリー・サポート・センター事業の周知や研修の実施により、地域の会員同士の相互援助活動の推進を図ることができた。事業周知等と多様な保育ニーズに対応するために、協力会員の拡充及びスキルアップが課題である。	現状維持
② 学 童 保 育 の 充 実	93 学童保育事業の充実	子 育 て 支 援 課	実施	保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない小学1年生から6年生の児童に対し、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場において、児童の健全な育成を図るため学童保育を実施した。また、関係部局と協議を行い、学校の余裕教室等を活用して新設や定員拡充を行った。〔学童保育所数〕H28年度23か所、29年度24か所、30年度24か所、R元年度25か所〔定員・在籍児童数〕H28年度1,180人・1,143人、29年度1,325人・1,278人、30年度1,325人・1,297人、R元年度1,475人・1,427人（各年度4月1日現在）	父母の就労支援や社会参加しやすい環境づくりを図ることができた。待機児童解消には至っていないため、引き続き学童保育所の整備を検討する必要がある。	積極的な推進
③ 子 育 て 支 援 の 充 実	94 安心して子育てができる地域づくり	子 ど も 保 育 課 (すてつぷ21)	実施	地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点に母子保健課と連携して、子育て支援事業を実施し妊娠から出産、乳幼児期を通じた支援を行った。また、遊びと交流の広場の利用につなげることで、親子が安心して遊べ親同士が交流する場や機会を提供すると共に相談業務や情報提供も行った。	母子保健課と連携し安心して子育てできる地域づくりに努めた。今後、連携強化や事業内容を精査し、より一層の充実を図ることが課題である。	現状維持

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

			母子保健課	実施	子ども保育課と連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠期から出産、乳幼児期までの切れ目のない支援を実施した。また、遊びと交流の広場の利用につながることで、親子が安心して遊べ、親同士が交流する場や機会を提供し、子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業として、様々な相談やニーズに応じた支援や情報提供を行った。 ・子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター〔開放延べ日数・利用者数〕H28年度1,506日・60,948人、29年度1,388日・54,087人、30年度1,334日・36,710人、R元年度1,058日・29,536人 ・出前「遊びと交流の広場」〔開催・利用者数〕H28年度11か所・7,574人、29年度13か所・7,543人、30年度11か所・6,745人、R元年度12か所・5,479人	子ども保育課と連携することで、切れ目のない支援につなげ、地域の特性を生かした子育て支援を行うことができた。(R元年度3月は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業がある)	現状維持
		95 子ども相談センターの充実	子ども福祉課(子ども相談センター)	実施	・18歳未満の子どもと家庭(妊産婦を含む)の総合相談窓口として、保健師、教員経験者、精神保健福祉士、保育士、社会福祉主事の専門職と家庭相談員が、電話・面接・家庭訪問の個別支援と保護者向けのグループ支援を行った。また、児童虐待の未然防止・対応に取り組み、子どもの健全育成を支援した。 ・要保護児童対策地域協議会の運営と関係機関向け虐待防止研修の開催等により、関係機関の連携強化と専門性の向上に努めた。〔地域協議会委員数〕H28年度60人、29年度59人、30年度62人、R元年度70人 ・保護者向けに講座を開催し、メンタルヘルスの向上と虐待防止を図った。 ・子ども相談センターへの相談〔相談件数・延べ対応件数〕H28年度1,092件・26,307件、29年度1,122件・30,070件、30年度1,473件・41,213件、R元年度1,675件・51,874件〔相談員数〕H28年度8人、29年度10人、30年度11人、R元年度14人〔関係機関向け研修及び啓発回数・参加者数〕H28年度21回・595人、29年度17回・529人、30年度20回・471人、R元年度14回・362人〔子育て講座の開催日数〕H28年度3日、29年度8日、30年度9日、R元年度6日	関係機関と連携しながら、子育てに関する相談・援助活動の充実が図れた。また、子ども家庭総合支援拠点の設置による相談員の増員及び班体制の実施により、相談体制を強化できた。	現状維持
		96 地域子育て支援センター機能の充実	子ども保育課(すてっぷ21)	実施	マタニティ広場や子育てワークショップ「おしゃべり広場」等の交流の場を提供し、妊娠期の早い時期から地域子育て支援センター等の利用を促し、子育て支援の充実を図った。〔マタニティ広場開催数・延べ参加者数〕H29年度36回・107人、30年度22回・86人、R元年度11回・52人〔おしゃべり広場開催数・延べ参加者数〕H29年度18回・98人、30年度15回・63人、R元年度9回28人	親子が安心して交流する場を提供すると共に相談業務、情報提供、親の学習において、保育士、栄養士、看護師等による専門性を活かした支援を行い、地域子育て支援センターの機能充実について推進を図ることができた。	現状維持
整備 (1)多様な子育て環境の	④児童の健全育成・親の交流機会の充実	97◆1 講座等の開催 (1)子ども教室・家庭教育講座等	生涯学習振興課(公民館)	実施	児童の健全育成を目指し、子どもの発達段階に合わせた親の関わり方を学ぶ機会や、子育てに関する情報の提供や親同士の交流の場として講座を開催した。〔保護者対象講座(家庭教育講座等)・延べ参加者数〕12講座364人〔1歳児親子学級・延べ参加者数〕市内9公民館10学級2,598人〔親子対象講座・延べ参加者数〕28講座759人〔青少年対象講座・延べ参加者数〕60講座1,637人	主催講座の実施により、児童の健全育成及び親同志の交流の充実を図ることができた。家庭教育講座への参加者数の減少は課題である。	積極的な推進
		97◆2 子どもと本の講座・おはなし会	生涯学習振興課(図書)	実施	・0~1歳、2~3歳、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会の定期開催〔開催数〕H28年度406回、29年度532回、30年度503回、R元年度483回 ・保育園対象のおはなし会〔開催数〕H28年度31回、29年度60回、30年度92回、R元年度71回 ・季節に合わせた特別おはなし会(こわいおはなし会等)、ボランティアや保育士	様々なおはなし会やイベントを実施し、図書館での交流の機会を設けることができた。より多くの人に参加してもらえるように、広報活動を活発に行っていきたい。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

					向けの読み聞かせ講座、本を使った調べ学習等の各種講座を開催した。		
		98 親学習支援事業の実施	子ども保育課(すてっぷ21)	実施	子育て中の親を対象に食を通じて育児力・生活力をつけるための「みんなで食育」、子育てのワンポイントをリーフレットにまとめて紹介する「子育て応援ポケット」、育児力を向上させる子育てワークショップ「おしゃべり広場」を実施し、参加型・体験型の学習機会を提供した。また、「遊びと交流の広場」の利用者に「中央ポケット」として、季節に合わせた健康教育等について「子育て応援ポケット」を活用した情報提供等をした。 〔みんなで食育実施回数・延べ参加者数〕H28年度33回436人、29年度28回329人、30年度22回111人、R元年度17回93人〔おしゃべり広場実施回数・延べ参加者数〕H28年度21回102人、29年度18回98人、30年度15回63人、R元年度9回28人〔中央ポケット実施回数・延べ参加者数〕H28年度92回952人、29年度65回578人、30年度75回578人、R元年度54回505人	子育てをする親に対し、参加・体験型の学習機会を提供することにより子育て支援の充実を図ることができた。	現状維持
(2) ひとり親家庭の自立の推進	① 経済の安定と住環境の整備	99 母子・父子・寡婦福祉資金の貸付	子ども福祉課	実施	母子家庭・父子家庭又は寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉の向上を図るため、県が実施している各種資金の無利子又は低利子での貸付を受け付けた。〔件数〕H28年度20件、29年度15件、30年度7件、R元年度4件	県の貸付審査の前に、貸付希望者に制度の説明や申請書類等の作成補助を行い、申請が受理されるように支援した。貸付が必要な人に対して生活の安定・向上が図られた。	現状維持
		100 ひとり親家庭等の医療費助成	子ども福祉課	実施	ひとり親家庭等の母・父及び児童に対し、児童が満18歳に達する年度(一定の障害を有する場合は20歳に達した月末)まで、医療費の一部を助成した。 〔助成を受けた人数〕H28年度1,515人、29年度1,520人、30年度1,492人、R元年度1,503人	ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。今後、給付請求手続きの簡素化により請求率を上げることで、さらに経済的負担の軽減を図っていく。	現状維持
		101 ひとり親家庭の児童育成のための経済的支援の充実	子ども福祉課	実施	低所得のひとり親家庭に対して、児童扶養手当の支給を行った。 〔支給者数〕H28年度1,130人、29年度1,031人、30年度1,021人、元年度983人	低所得のひとり親家庭に対して、経済的な支援をすることができた。今後も適切な受給資格者の受給を目指し、窓口での丁寧な制度説明と聞き取りを行っていく。また、受給資格者の生活状況の変動に応じて支給額を変動させるため、適正な受給資格者の状況把握に努める。	現状維持
		102 母子生活支援施設への入所	子ども福祉課	実施	生活上の問題で児童の養育が十分にできない場合、母子で施設に入所させ、生活指導、就労支援、保育の援助を行った。〔入所世帯数〕H28年度2世帯、29年度1世帯、30年度1世帯、R元年度1世帯	母子が安心して生活できる場を長期的に提供し、生活の安定を支援した。令和2年度中の入所者の退所に向けても、適切な生活指導や就労支援等を行っていく。	積極的な推進
		103 高等職業訓練促進支援事業及び自立支援教育訓練助成事業	子ども福祉課	実施	・高等職業訓練促進給付金を、看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士等の資格取得のために、養成機関で就業しているひとり親家庭の母親へ支給した。〔支給者数〕H28年度1人、29年度2人、30年度4人、R元年度4人	高等職業訓練促進給付金や自立支援教育訓練給付金の支給により、資格取得のための生活費の負担や受講料の負担を軽減することができた。また、対象者の資	積極的な推進

【資料1】令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

				・自立支援教育訓練給付金を、雇用保険の教育訓練指定講座を受講したひとり親家庭の母親へ支給した。〔支給者数〕H28年度2人、29年度2人、30年度2人、R元年度2人	格取得により増収が見込まれる状況となった。	
	104 母子世帯向け市営住宅	健康福祉課	実施	年3回、広報やちよ及び市ホームページを活用し、入居者の募集をした。〔総入居件数（母子世帯数）〕H28年度22件、29年度21件、30年度16件、R元年度20件〔新規入居件数（母子世帯向け）〕H28年度2件、29年度1件、30年度2件、R元年度2件	母子家庭の生活の安定のため住居を供給できた。引き続き母子家庭の居住の安定を図るため、母子世帯向け市営住宅を供給していく。	現状維持
②生活支援の充実	105 ひとり親家庭等日常生活支援事業	課 子ども福祉	実施	義務教育終了前の児童がいるひとり親家庭で、親が急に病気にかかったり仕事が入ったりしたときなどに家庭生活支援員が児童の保育などの支援を行った。〔利用者数・延べ利用回数〕H28年度8人287回、29年度9人339回、30年度16人511回、R元年度9人378回	家庭生活支援員が窓口や電話での丁寧な事業説明や家庭の状況把握に努めた。今後も家庭生活支援員とひとり親家庭が良好な関係を維持できるように支援し、円滑な利用につなげていく。	積極的な推進
	106 母子・父子自立支援員による情報の提供及び相談の充実	子ども福祉課	実施	ひとり親家庭の日常生活や子育て等に関する相談及び情報提供を行った。〔生活一般の相談件数〕H28年度541件、29年度530件、30年度206件、R元年度207回〔児童に関する相談件数〕H28年度58件、29年度76件、30年度20件、R元年度33回〔経済的支援・生活支援に関する相談件数〕H28年度593件、29年度680件、30年度338件、R元年度303回〔その他〕H28年度7件、29年度6件、30年度5件、R元年度9件	ひとり親家庭等に対し、窓口や電話で情報提供・相談を行うことで、各家庭の問題の発見や解決策の提案等の補助、各相談・関係機関への案内等を行い、経済的支援・生活支援からの自立や現状の改善につなげた。	積極的な推進
③緊急時対応の充実	107 緊急時の児童相談所との連携	子ども福祉課（子ども相談センター）	実施	保護者の疾病（感染症を除く）や出産等により子どもの養育が困難な場合に、3歳未満の児を対象に子どもショートステイ事業を実施した。また、0から2歳児で子どもショートステイ事業が利用できない場合や3歳以上の場合は、児童の情報を児童相談所に提供し、児童相談所が必要に応じて一時保護の措置を講じた。〔子どもショートステイ利用件数・延べ日数〕H28年度10件30日、29年度10件23日、30年度30件85日、R元年度16件28日〔問い合わせ件数〕H28年度35件、29年度45件、30年度68件、R元年度55件	子どもショートステイ事業について、子育て世帯など一時預かりを必要とする家庭へ、広報やちよや市ホームページによる広報のほか、リーフレット配布等により周知ができた。	現状維持
(3)高齢者・障害者福祉の充実	①自立援助の推進	長寿支援課（地域包括支援センター）	実施	高齢者の介護や老後の心配、健康や医療、福祉に関すること、その他生活全般の悩みについて、保健師・社会福祉士・任介護支援専門員が相談を受け、適切な相談機関につないだり、福祉・介護サービスなどの情報提供や助言を行った。〔地域包括支援センター延べ対応件数（訪問・電話・来所等）〕H28年度56,659件（7,703件）、29年度61,960件（7,601件）、30年度67,910件（8,199件）、R元年度67,826件（8,979件） *（ ）は、そのうち大和田地域包括支援センターで受けたもの	市内6か所の地域包括センターで、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の困りごとの相談や支援を行うことができた。	現状維持
	109◆1 日常生活用具・補装具の給付と貸与（1）高齢者日常生活用具給付等事業	長寿支援課	実施	前年度の所得税が非課税の65歳以上のひとり暮らし高齢者に対して、安心して生活ができるように、電磁調理器などの生活用具を給付した。〔電磁調理器〕H28年度2件、29年度3件、30年度5件、R元年度2件〔火災報知器〕H28年度1件、29年度1件、30年度3件、R元年度2件〔自動消火器〕H28年度2件、29年度1件、30年度2件、R元年度1件〔老人福祉電話〕H28年度5件、29年度0件、30年度1件、R元年度0件	高齢者の自立した生活を支援できた。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

	109◆2 (2) 日常生活用具費及び補装具費の支給	障害者支援課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体障害者等の日常生活の向上を図るために、義肢・装具・車椅子・補聴器等の購入・修理する費用を支給した。〔購入件数〕H28年度186件、29年度188件、30年度162件、R元年度173件〔修理件数〕H28年度95件、29年度109件、30年度90件、R元年度105件</li> <li>障害児・者、難病患者等の日常生活の便宜を図るために、盲人用時計・特殊寝台・電動式たん吸引器・ストーマ装具等を購入する費用を支給した。〔支給件数〕H28年度1,439件、29年度1,168件、30年度1,248件、R元年度1,239件</li> </ul>	障害児・者、難病患者等の自立した生活を支援できた。	積極的な推進
	110 入浴サービス事業	障害者支援課	実施	入浴が困難な重度の障害児・者、難病患者の健康増進と介護者の負担を軽減するために、自宅で入浴サービスを行なった。〔実人数・延べ利用件数〕H28年度10人・86件、29年度7人・68件、30年度6人・71件、R元年度9人・82件	家族の介護負担を軽減することができた。利用者の生活の質の向上を図る上で、入浴回数が検討課題である。	積極的な推進
	111 介護用品購入費助成事業の実施	長寿支援課	実施	自宅において寝たきり及び重度の認知症である高齢者を介護している家族に対して、紙おむつなどの介護用品購入費の一部を助成した。〔延べ利用件数〕H28年度1,873件、29年度1,639件、30年度1,670件、R元年度1,583件	介護者及び家族の経済的・精神的負担が軽減された。	現状維持
	112 訪問指導の実施	健康づくり課	実施	保健師、理学療法士、栄養士等が高齢者や障害者、生活習慣病リスクの高い住民を訪問し、住環境や生活状況等の評価に基づき、これらの改善を目的とした提案または助言を行った。〔実人数・延べ人数〕H28年度43人・74人、29年度27人・32人、30年度6人・9人、令和元年度10人・15人	主に難病者や有病者となるリスクの高い住民に対する訪問を実施した。今後も誰もが住み慣れた地域で明るく生きがいのある生活を送れるよう、住民の健康増進に取り組んでいく。	現状維持
②緊急時対応の充実	113◆1 短期入所・緊急一時保護 (1) 高齢者緊急一時保護事業	長寿支援課	実施	緊急一時保護事業は、災害等の緊急時に適当な保護者がいない場合に一時的に市内の特別養護老人ホームで保護を実施する事業であることから、H28年度～R元年度の実績はない。	突発的な事案発生に備えて事業を継続する。	現状維持
	113◆2 (2) 障害児・者の短期入所事業	障害者支援課	実施	障害児・者を在宅で介護している家族が、疾病等により介護が困難となったときに、短期間施設に入所させ、入浴・排泄及び食事の介護その他必要な支援を行った。〔実人数・延べ件数〕H28年度93人・359件、29年度96人・377件、30年度109人・564件、R元年度127人・806件	緊急時の対応ができた。今後も実施していく。	積極的な推進
	114 緊急通報システム設置	長寿支援課	実施	ひとり暮らしの高齢者が急病など緊急時に、即時に連絡が取れるよう緊急通報装置を設置した。また、付属機器として孤独死防止の見守り機器を設置した。〔新規設置数〕H28年度123件、29年度151件、30年度118件、R元年度124件	ひとり暮らし高齢者の安心・安全が図られた。	現状維持
		障害者支援課	実施	ひとり暮らしの身体障害者手帳1級・2級所持者が、急病などの緊急事態のときに即時連絡が取れるよう、緊急通報装置を設置した。通報があった場合に、委託業者により即時に必要な対応を行った。〔実人数・延べ利用件数〕H28年度7人・78件、29年度8人・83件、30年度6人・64件、R元年度5人・57件	障害者の緊急事態への不安を軽減し、ひとり暮らしの身体障害者の安心・安全が図られた。	積極的な推進



【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

		115 徘徊高齢者家族支援サービス事業の推進	長寿支援課	実施	専用端末の貸し出しを行った。〔延べ件数〕H28年度131件、29年度101件、30年度90件、R元年度144件	緊急時の対応の充実が図れた。	現状維持
	③地域のサポート・ネットワークへの支援	116 SOSネットワーク事業の推進	健康福祉課（福祉総合相談室）	実施	行政防災無線を利用することにより、徘徊により行方不明になった高齢者等を早期に発見・保護し、安全の確保を図った。また、徘徊高齢者等情報メール（やちよ情報メール）を配信することにより、市民からの情報収集を図った。〔利用件数〕H28年度5件、30年度21件、29年度8件、R元年度32件	緊急時の対応、行方不明者の早期発見につながることで、対象者の安全確保が図れた。より広く情報を周知することが課題である。	積極的な推進

取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当課	実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題	男女共同参画視点の評価
主要課題	V	みんなで推進する	—推進体制の整備と協働の推進—				
1 連携・協働体制の構築							
(1) 市民参加の推進	① 男女共同参画事業への市民参加の推進	117 市民参加の推進	男女共同参画センター	実施	やちよ男女共同参画プラン懇話会の開催や、支援団体への協力・共催での事業実施等を通して、市民の参加を積極的に行った。	市民参加の推進を図ることができた。	現状維持
	② 男女共同参画施策への市民意見導入の推進	118 市民意見導入の推進	男女共同参画センター	実施	市内在住の18歳以上の2,500人を対象に「八千代市の男女共同参画に関する市民アンケート」を実施した。報告書を男女共同参画推進委員会・同幹事会委員に配布して情報共有を図るとともに、市内図書館等への配架や市ホームページに掲載した。やちよ男女共同参画プラン懇話会においても、男女共同参画に関わる施策の効果的な推進を図るため、様々な視点からの多様な意見を聞くよう努めた。〔委員数〕10人（市民委員5人、学識経験者5人）	アンケートの回収率が28.1%と低かった。より多くの意見を得られるような手法を研究したい。	積極的な推進
(2) 自治体との連携・協力	① 国・県・近隣自治体との連携した取組の推進	119 国・県・近隣自治体との連携	男女共同参画センター	実施	「ちば男女共同参画行政担当者連絡会議」「男女共同参画センター等連絡会議」「男女共同参画づくりに向けての全国会議」に出席し、国・県・近隣自治体との情報交換を行った。また、毎月開催される、県男女共同参画地域推進員会議（千葉・葛南地域）に出席し、県や近隣自治体と協力して事業を実施した。	県・近隣自治体との連携・協力を図ることができた。	現状維持
2 推進体制の強化							
(1) 男女共同参画センターの充実	① 男女共同参画センターの周知と機能の充実	120 男女共同参画センターの周知と効果的な情報発信の実施	男女共同参画センター	実施	講座の実施内容や男女共同参画に関する情報を、市ホームページや情報メール等で発信した。若い女性に関するものは、SNSでの配信も行った。また、男女共同参画日より「やちよべあ」を市内公共施設や駅構内に設置することで周知を図った。	男女共同参画センターの周知ができた。今後も周知方法を工夫していきたい。	現状維持

【資料1】 令和元年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

(2) 庁内推進体制の整備・拡充	① 庁内組織の活用	121 庁内推進組織の活用	男女共同参画センター		男女共同参画施策を推進するための庁内の組織として設置した「やちよ男女共同参画プラン推進会議及び幹事会」の委員及び幹事に、やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画の進捗状況の概要を報告した。また、同委員と幹事を対象に、次期男女共同参画プラン策定に向けた研修として、県市町村男女共同参画促進アドバイザーによる講演会を行った。	本市の男女共同参画施策の進捗状況について、庁内推進組織を活用し周知を図ることができた。	現状維持	
	提供	② 市職員への研修機会の提供	122◆1 市職員への研修機会の提供 (1) 国・県等の講座、研修等の情報提供	男女共同参画センター	実施	次期男女共同参画プラン策定に向けた研修として開催した、県市町村男女共同参画促進アドバイザーによる講演会に、男女共同参画推進会議及び同会議幹事会メンバー19人が参加した。また、新規採用職員研修において、男女共同参画に関する取組を理解するため研修を実施した。	県男女共同参画推進アドバイザーから、多くの情報を得ることができ、職員に対する意識啓発を図ることができた。	積極的な推進
		② 市職員への研修機会の提供	122◆2 (2) 男女共同参画に関する研修の実施	職員課	実施	新規採用職員研修の中で「男女共同参画に関する取組」の講義を行った。また「地方公務員とは（服務）」においても、男女共同参画社会実現の重要性の周知と意識づけを図った。〔男女共同参画に関する取組の受講者数〕H29年度 38人、30年度 30人、R元年度 27人〔地方公務員とは（服務）の受講者数〕H29年度 64人、30年度 47人、R元年度 35人	職員を対象に、男女共同参画に関する取組を理解するための研修を実施することで、男女平等意識の啓発が図れた。	現状維持
(3) 計画の進捗管理の充実	知 ① 計画の進捗管理・評価・周知	123 計画の進捗管理・評価・周知	男女共同参画センター	実施	やちよ男女共同参画プランの進捗状況調査を行い、庁内組織や懇話会委員からの意見をまとめた。進捗状況については、市ホームページで公表した。	全体的に計画の推進を図ることができたが、経年によりプラン自体が現状と乖離してきている点がある。	現状維持	